

別添 1 : 共通調査項目案

共通調査項目案（子供向け）

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
	前書き	<ul style="list-style-type: none"> ・ これは、（自治体名）の子供の生活状況などを調べるためのアンケートです。 ・ この調査の回答は、あなたが自分で書いてください。安心して答えられるよう、おうちの方や学校の先生には見せないでください。 ・ 名前は、書かないでください。 ・ 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。 ・ 答えたくない質問は、とばして次に進んでください。 ・ 答えは、あてはまる番号に をつけるか、数字で書いてください。 ・ のつけかたは、質問文の終わりに「1つだけ」や「いくつでも」などと書いてありますので、それにしたがってください。 ・ 全部書き終わったら、自分で 色の封筒に入れて、のりやセロハンテープでとじてください。それを、おうちの方の封筒といっしょに、大きい封筒に入れて、先生の指示にしたがって出してください。 ・ このアンケートは調査の目的以外には使用しません。また、このアンケートでは名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。 ・ 調査についてのお問い合わせは、以下までお願いします。 （問合せ先情報） 	
子-01	本人の性別	<p>あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>男 女 その他・答えたくない</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-02	学習環境	<p>あなたは、ふだんの学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。 勉強には学校の宿題もふくみます。 (~ については、あてはまるものすべてに○)</p> <p>自分で勉強する 塾で勉強する 学校の補習を受ける 家庭教師に教えてもらう 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する 家の人に教えてもらう 友達と勉強する その他 学校の授業以外で勉強はしない</p>	
子-03	学習習慣	<p>あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)</p> <p>a) 学校がある日(月～金曜日) b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)</p> <p>まったくしない 30分より少ない 30分以上、1時間より少ない 1時間以上、2時間より少ない 2時間以上、3時間より少ない 3時間以上</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-04	学習成績	<p>あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>上のほう やや上のほう まん中あたり やや下のほう 下のほう わからない</p>	
子-05	授業の理解度	<p>あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>いつもわかる だいたいわかる 教科によってはわからないことがある わからないことが多い ほとんどわからない</p>	
子-06	<p>授業についていけなくなった時期 【小5のみ】</p>	<p>前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。</p> <p>いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>1・2年生のころ 3年生のころ 4年生のころ 5年生になってから</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-07	授業についていけなくなった時期 【中2のみ】	<p>前の質問で「 教科によってはわからないことがある」「 わからないことが多い」「 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。</p> <p>いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>小学1・2年生のころ 小学3・4年生のころ 小学5・6年生のころ 中学1年生のころ 中学2年生になってから</p>	
子-08	進学希望	<p>あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>中学まで 高校まで 短大・高専・専門学校まで 大学またはそれ以上 まだわからない</p>	
子-09	進学希望	<p>前の質問で ~ と答えた場合、その理由を教えてください。（ ~ については、あてはまるものすべてに○）</p> <p>希望する学校や職業があるから 自分の成績から考えて 親がそう言っているから 兄・姉がそうしているから まわりの先輩や友達がそうしているから 家にお金がないと思うから 早く働く必要があるから その他 とくに理由はない</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-10	部活動等の状況 【中2のみ】	あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに) 参加している 参加していない	
子-11	部活動等を行わない理由 【中2のみ】	前の質問で「参加していない」と回答した人にお聞きます。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) 入りたいクラブ・部活動がないから 塾や習い事が忙しいから 費用がかかるから 家の事情(家族の世話、家事など)があるから 一緒にいる友達がいないから その他	
子-12	食事の頻度	あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a c それぞれについて、あてはまるもの1つに○) a) 朝食 b) 夕食 c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 毎日食べる(週7日) 週5～6日 週3～4日 週1～2日、ほとんど食べない	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-13	就寝時間の規則性	<p>あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)</p> <p>そうである どちらかといえばそうである どちらかといえばそうではない そうではない</p>	
子-14	信頼できる大人・友人	<p>あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(～については、あてはまるものすべてに○)</p> <p>親 きょうだい 祖父母など 学校の先生 学校の友達 学校外の友達 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど その他の大人(学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など) ネットで知り合った人 だれにも相談できない、相談したくない</p>	「学童保育所の人」は小5のみ

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-15	主観的幸福 (生活満足度)	<p>全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)</p> <p>0 (まったく満足していない)</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10 (十分に満足している)</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-16	精神状態	<p>以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a o それぞれについて、あてはまるもの1つに)</p> <p>a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。</p> <p>b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。</p> <p>c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。</p> <p>d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。</p> <p>e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。</p> <p>f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。</p> <p>g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。</p> <p>h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。</p> <p>i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。</p> <p>j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。</p> <p>k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。</p> <p>l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。</p> <p>m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・子供たちなど)。</p> <p>n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。</p> <p>o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。</p> <p>あてはまらない まああてはまる あてはまる</p>	<p>調査項目の概要</p> <p>SDQ (Strengths and Difficulties Questionnaire : 子どもの強さと困難さアンケート) の 25 の項目のうち、「情緒」「仲間関係」「向社会性」の 3 観点に関する 15 項目を設定している。</p> <p>採点方法</p> <p>「あてはまらない」を 0 点、「まああてはまる」を 1 点、「あてはまる」を 2 点とし、観点ごとに点数を合計する。ただし、g と i は「あてはまらない」が 2 点、「あてはまる」が 0 点となる。</p> <p>評価方法(しきい値)の例</p> <p>英国では要支援度のしきい値を観点ごとに以下の通り提示している。ただしこれは親が子供を評価する際のものであることに留意されたい。</p> <p>[1]情緒 : b, e, h, j, o ⇒要支援度低 : 2 点、中 : 3 点、高 : 4 点</p> <p>[2]仲間関係 : d, g, i, l, n ⇒要支援度低 : 2 点、中 : 3 点、高 : 4 点</p> <p>[3]向社会性 : a, c, f, k, m ⇒要支援度低 : 6 点、中 : 5 点、高 : 4 点</p>

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-17	逆境体験	<p>あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>a) 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある</p> <p>b) 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある</p> <p>c) 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある</p> <p>d) 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある</p> <p>e) 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある</p> <p>f) 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある</p> <p>g) 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる</p> <p>h) 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる</p> <p>上のようなことで、つらい気持ちの場合は、学校のスクールカウンセラーや「チャイルドライン」（フリーダイヤル：0120-99-7777）に話してみてください。</p> <p>ひとつもあてはまらない（0個）</p> <p>1～2個あてはまる</p> <p>3～4個あてはまる</p> <p>5～7個あてはまる</p> <p>すべてあてはまる（8個）</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
子-18	支援の利用状況	<p>あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、「利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）</p> <p>a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育所など） b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など） c) 勉強を無料でみてくれる場所 d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）</p> <p>利用したことがある 利用したことはない</p> <p>1) あれば利用したいと思う 2) 今後も利用したいと思わない 3) 今後利用したいかどうか分からない</p>	a～d については、自治体により、具体的な事業名を例示したり、項目の変更、追記等が可能。
子-19	支援の効果	<p>前の質問で、1 つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（～ については、あてはまるものすべてに○）</p> <p>友だちが増えた 気軽に話せる大人が増えた 生活の中で楽しみなことが増えた ほっとできる時間が増えた 栄養のある食事をとれることが増えた 勉強がわかるようになった 勉強する時間が増えた その他 特に変化はない</p>	自治体で前問の a～d に該当する事業を実施していない場合は、質問しなくてもよい。

共通調査項目案（親向け）

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
	前書き	<p>・このアンケートは、小学校5年生または中学2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うものです。アンケートの結果は、子育て世帯等への施策に役立てることを目的としています。</p> <p>・このアンケートは、小学校5年生または中学2年生のお子さんの保護者の方がお答えください。</p> <p>・このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。</p> <p>・ご回答は、回答の番号に をつけてください。お答えになりたくない質問には、とばして次の質問にお進みください。</p> <p>・ご記入いただいたアンケート用紙は、 色の封筒に入れ、他の人に見られないようにのりやセロハンテープで封をして、お子さんに渡してください。</p> <p>・このアンケートは、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。</p> <p>・調査に関してのお問い合わせは、以下までお願いします。</p> <p style="text-align: center;">問合せ先情報</p>	
親-01	回答者の続柄	<p>お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生/中学2年生のお子さんのことをいいます。以下同じ。</p> <p style="padding-left: 40px;">母親（継母を含む。）</p> <p style="padding-left: 40px;">父親（継父を含む。）</p> <p style="padding-left: 40px;">祖父母</p> <p style="padding-left: 40px;">その他</p>	
親-02	居住地域	<p>あなたがお住まいの中学校の学区を教えてください。（あてはまるもの1つに○）</p> <p style="text-align: center;">選択肢は自治体ごとに設定。</p>	自治体の調査分析方針により、質問内容の変更は可能。

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-03	家族構成	<p>お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む。）を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。</p> <p>【人数を記入】</p>	
親-04	世帯人数	<p>前問で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>母親 父親 祖父母 兄弟姉妹 その他</p>	
親-05	親の婚姻状況	<p>お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>結婚している（再婚や事実婚を含む。） 離婚 死別 未婚 いない、わからない</p>	
親-06	ひとり親の養育費受取状況	<p>前問で「離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>取り決めをしており、養育費を受け取っている 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-07	家庭で使用している言語	<p>ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)</p> <p>日本語のみを使用している</p> <p>日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い</p> <p>日本語以外の言語を使うことが多い</p>	
親-08	親の学歴	<p>お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)</p> <p>a) 母親</p> <p>b) 父親</p> <p>中学(中学部)まで</p> <p>高校(高等部)まで</p> <p>短大・高専・専門学校(専攻科)まで</p> <p>大学またはそれ以上</p> <p>いない、わからない</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-09	親の雇用形態	<p>お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)</p> <p>a) 母親 b) 父親</p> <p>正社員・正規職員・会社役員 嘱託・契約社員・派遣職員 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。) 働いていない(専業主婦/主夫を含む。) いない、わからない</p>	
親-10	就労していない理由	<p>前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)</p> <p>a) 母親 b) 父親</p> <p>働きたいが、希望する条件の仕事がないため 子育てを優先したいため 家族の介護・介助のため 自分の病気や障害のため 通学しているため その他の理由</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-11	幼児期の教育 (0-2 歳)	<p>調査対象のお子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>認可保育所・認定こども園 その他の教育・保育施設 親族以外の個人 もっぱら親・親族が面倒を見ていた</p>	
親-12	幼児期の教育 (3-5 歳)	<p>調査対象のお子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>幼稚園・認可保育所・認定こども園 その他の教育・保育施設 親族以外の個人 もっぱら親・親族が面倒を見ていた</p>	
親-13	保護者の関わり 方	<p>保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。（a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）</p> <p>a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる</p> <p>あてはまる どちらかといえば、あてはまる どちらかといえば、あてはまらない あてはまらない</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-14	学校行事への参加	<p>あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）</p> <p>a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加 b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加</p> <p>よく参加している ときどき参加している あまり参加していない まったく参加していない</p>	
親-15	進学の見通し	<p>お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。（あてはまるもの1つに○）</p> <p>中学まで 高校まで 短大・高専・専門学校まで 大学またはそれ以上 まだわからない</p>	
親-16	想定する進学先の理由	<p>前問で ~ と答えた場合、その理由は何ですか。（ ~ については、あてはまるものすべてに○）</p> <p>お子さんがそう希望しているから 一般的な進路だと思うから お子さんの学力から考えて 家庭の経済的な状況から考えて その他 特に理由はない</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-17	保護者の頼れる相手	<p>あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～cそれぞれについて、～のあてはまるもの1つに○)</p> <p>また、「いる」場合、それはだれですか。(1)～(7)のあてはまるものすべてに○)</p> <p>a) 子育てに関する相談 b) 重要な事柄の相談 c) いざという時のお金の援助</p> <p>いる</p> <p>1) 家族・親族 2) 友人・知人 3) 近所の人 4) 職場の人 5) 民生委員・児童委員 6) 相談・支援機関や福祉の人 7) その他</p> <p>いない</p> <p>そのことでは人に頼らない</p>	
親-18	暮らし向き(主観)	<p>あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)</p> <p>大変ゆとりがある ゆとりがある ふつう 苦しい 大変苦しい</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-19	世帯収入	<p>世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)</p> <p>収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の勤め先収入(定期収入、賞与等)、事業所得(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)、公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)、農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)、財産所得(預貯金利子、家賃収入等)、その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)を含みます。</p> <p>50万円未満 50 100万円未満 100 150万円未満 150 200万円未満 200 250万円未満 250 300万円未満 300 350万円未満 350 400万円未満 400 450万円未満 450 500万円未満 500 600万円未満 600 700万円未満 700 800万円未満 800 900万円未満 900 1000万円未満 1000万円以上</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-20	滞納・欠乏経験	<p>あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（あてはまるもの 1 つに○）</p> <p>よくあった ときどきあった まれにあった まったくなかった</p>	
親-21	滞納・欠乏経験	<p>あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（あてはまるもの 1 つに○）</p> <p>よくあった ときどきあった まれにあった まったくなかった</p>	
親-22	滞納・欠乏経験	<p>あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>電気料金 ガス料金 水道料金</p>	

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-23	精神状態	<p>次の a) ~ f) の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a ~ f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)</p> <p>a) 神経過敏に感じた b) 絶望的だと感じた c) そわそわ、落ち着かなく感じた d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた e) 何をするのも面倒だと感じた f) 自分は価値のない人間だと感じた</p> <p>いつも たいてい ときどき 少しだけ まったくない</p>	<p>K6 指標：ひとつの質問ごとに 0 点(まったくない)から 4 点(いつも)。合計は 0 点から 24 点になる。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示す。</p> <p>・5 点以上：心理的ストレス反応相当 ・9 点以上：気分・不安障害相当 ・10 点以上：気分・不安障害相当 ・13 点以上：重症精神障害相当</p> <p>川上憲人・高野歩(2015)「一般住民におけるトラウマ被害の精神影響の調査手法」</p>

No.	調査項目	設問文・選択肢	補足事項
親-24	支援の利用状況	<p>あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（a～eそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）</p> <p>a) 就学援助 b) 生活保護 c) 生活困窮者の自立支援相談窓口 d) 児童扶養手当 e) 母子家庭等就業・自立支援センター</p> <p>現在利用している 現在利用していないが、以前利用したことがある 利用したことがない</p> <p>1) 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っから 2) 利用はできるが、特に利用したいと思わなかつたから 3) 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから 4) 利用したいが、手続がわからなかつたり、利用しにくいから 5) 上記以外の理由</p> <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。 ・生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。 ・児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。） 	<p>a～eの支援制度については、各自治体の実態にあわせて表記の変更や追加が可能。ただし、追加をしすぎると回答者の負担が大きくなることに留意が必要である。</p> <p>※表記の変更例：「e) 母子家庭等就業・自立支援センター（ひとり親サポートセンター）」</p>

中分類	小分類	設問文・選択肢																				
	勉強を教えてくれる人	<p><子>あなたは、学校の勉強や宿題がわからなかったとき、だれに教えてもらいますか。あてはまるものをすべて選んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>お父さん・お母さん</td> <td>きょうだい</td> </tr> <tr> <td>おじいさん・おばあさんなど(1・2以外の家族)</td> <td>友だち</td> </tr> <tr> <td>学校の先生(授業以外の時間に聞く)</td> <td>学校以外の先生</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>教えてもらう人がいない</td> </tr> </table>	お父さん・お母さん	きょうだい	おじいさん・おばあさんなど(1・2以外の家族)	友だち	学校の先生(授業以外の時間に聞く)	学校以外の先生	その他	教えてもらう人がいない												
お父さん・お母さん	きょうだい																					
おじいさん・おばあさんなど(1・2以外の家族)	友だち																					
学校の先生(授業以外の時間に聞く)	学校以外の先生																					
その他	教えてもらう人がいない																					
学力	得意教科	<p><子>あなたの得意な教科は、どれですか。(あてはまる番号すべてに)</p> <table border="0"> <tr> <td>国語</td> <td>社会</td> <td>算数</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>生活</td> <td>音楽</td> </tr> <tr> <td>図画工作</td> <td>家庭</td> <td>体育</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>どれもあてはまらない</td> <td></td> </tr> </table>	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	その他	どれもあてはまらない									
国語	社会	算数																				
理科	生活	音楽																				
図画工作	家庭	体育																				
その他	どれもあてはまらない																					
習い事・部活動・地域活動	習い事の状況	<p><保護者>お子さんは習い事等(学習塾を含む)をしていますか。(1つだけに)</p> <table border="0"> <tr> <td>している</td> <td>していない</td> </tr> </table> <p><保護者>「1している」と答えた方におたずねします。習い事等(学習塾を含む)の種類は何ですか。(あてはまるものをすべてに)</p> <table border="0"> <tr> <td>学習塾</td> <td>家庭教師</td> <td>通信教育</td> </tr> <tr> <td>英会話・珠算などの勉強の習い事</td> <td>外国語(英語以外)</td> <td>野球・ソフトボール</td> </tr> <tr> <td>サッカー・フットサル</td> <td>テニス</td> <td>バスケットボール</td> </tr> <tr> <td>卓球</td> <td>バレーボール</td> <td>体操</td> </tr> <tr> <td>水泳</td> <td>武道(空手・剣道等)</td> <td>ダンス・舞踊</td> </tr> <tr> <td>ピアノ</td> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	している	していない	学習塾	家庭教師	通信教育	英会話・珠算などの勉強の習い事	外国語(英語以外)	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	テニス	バスケットボール	卓球	バレーボール	体操	水泳	武道(空手・剣道等)	ダンス・舞踊	ピアノ	その他	
している	していない																					
学習塾	家庭教師	通信教育																				
英会話・珠算などの勉強の習い事	外国語(英語以外)	野球・ソフトボール																				
サッカー・フットサル	テニス	バスケットボール																				
卓球	バレーボール	体操																				
水泳	武道(空手・剣道等)	ダンス・舞踊																				
ピアノ	その他																					
	習い事をしない理由	<p><保護者>「2していない」と答えた方におたずねします。お子さんが習い事等(学習塾等を含む)をしていない理由は何ですか。(あてはまるものをすべてに)</p> <table border="0"> <tr> <td>お子さんがやりたがらないから</td> <td>必要性を感じないから</td> <td>経済的に余裕がないから</td> </tr> <tr> <td>家の近くに塾や習い事がないから</td> <td>学校のクラブ活動が忙しいから</td> <td>自由時間が少なくなるから</td> </tr> <tr> <td>他の家族の理解が得られないから</td> <td>その他</td> <td>特にない</td> </tr> </table>	お子さんがやりたがらないから	必要性を感じないから	経済的に余裕がないから	家の近くに塾や習い事がないから	学校のクラブ活動が忙しいから	自由時間が少なくなるから	他の家族の理解が得られないから	その他	特にない											
お子さんがやりたがらないから	必要性を感じないから	経済的に余裕がないから																				
家の近くに塾や習い事がないから	学校のクラブ活動が忙しいから	自由時間が少なくなるから																				
他の家族の理解が得られないから	その他	特にない																				

中分類	小分類	設問文・選択肢
	自己肯定感	<p data-bbox="465 220 2101 256"><子> あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに)</p> <p data-bbox="465 268 808 300">A がんばれば、むくわれると思う</p> <p data-bbox="465 316 842 347">B 自分は価値のある人間だと思う</p> <p data-bbox="465 363 909 395">C 自分は家族に大事にされていると思う</p> <p data-bbox="465 411 882 443">D 自分は友だちに好かれていると思う</p> <p data-bbox="465 459 815 491">E 不安に感じることはないと思う</p> <p data-bbox="465 507 752 539">F 孤独を感じることはない</p> <p data-bbox="465 555 757 587">G 自分の将来が楽しみだ</p> <p data-bbox="465 603 712 635">H 自分のことが好きだ</p> <p data-bbox="510 651 622 683">とても思う</p> <p data-bbox="1025 651 1077 683">思う</p> <p data-bbox="1532 651 1693 683">あまり思わない</p> <p data-bbox="510 699 613 730">思わない</p>
	通学状況	<p data-bbox="465 754 1944 786"><子> あなたは、これまでに 1～5 のようなことがありましたか。それぞれについて教えてください。(あてはまる番号 1 つに をつけてください)</p> <p data-bbox="465 802 792 834">1 学校に行きたくないと思った</p> <p data-bbox="465 850 981 882">2 1 か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)</p> <p data-bbox="465 898 629 930">3 いじめられた</p> <p data-bbox="465 946 837 978">4 夜遅くまで子どもだけで過ごした</p> <p data-bbox="465 994 674 1026">5 学校に遅刻した</p> <p data-bbox="510 1042 613 1074">よくあった</p> <p data-bbox="1025 1042 1151 1074">時々あった</p> <p data-bbox="1532 1042 1682 1074">あまりなかった</p> <p data-bbox="510 1090 607 1121">なかった</p> <p data-bbox="1025 1090 1301 1121">こたえたくない・わからない</p> <p data-bbox="465 1137 1480 1169"><子> あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号 1 つに をつけてください)</p> <p data-bbox="510 1185 770 1217">毎日またはほとんど毎日</p> <p data-bbox="1025 1185 1182 1217">週に 4～5 回</p> <p data-bbox="1532 1185 1688 1217">週に 2～3 回</p> <p data-bbox="510 1233 680 1265">週に 1 回程度</p> <p data-bbox="1025 1233 1173 1265">遅刻はしない</p>

中分類	小分類	設問文・選択肢
子の居場所	ほっとできる居場所	<p><子> A～Kの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。1つだけ選んで、その記号をカッコの中に書いてください。ほっとできる居場所がない場合は、「X ほっとできる居場所はない」にをつけてください。</p> <p>A 自分の家 B 友だちの家 C 塾や習い事 D 児童館・こども館・青少年会館など E 学校(部活など) F 学校外のスポーツクラブの活動の場 G 公園 H 図書館 I ファストフード店やショッピングセンター、ファミリーレストランなど J ゲームセンター K その他(具体的に) X ほっとできる居場所はない</p>
	休日を過ごす場所	<p><子> あなたは、休日(学校がお休みの日)の昼間(外が明るい時間)は、どこで過ごしますか。月に1回以上過ごすところすべてにをつけてください。【複数回答】</p> <p>自分の家 友だちの家 塾や習いごとをする場所 児童館・公民館・その他施設 学校(放課後児童クラブをふくむ) スポーツクラブの活動の場(野球場, サッカー場など) 公園や広場 図書館 商店街やショッピングモール ゲームセンター その他</p>
	放課後を過ごす場所	<p><子> あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。(あてはまる番号すべてにをつけてください)</p> <p>自分の家 おばあちゃん・おじいちゃんの家 ともだちの家 塾 習いごと 学校(クラブ活動など) 公園・広場 スーパーやショッピングモール コンビニエンスストア ゲームセンター 図書館や公民館など公共の施設 地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所) 学童保育 その他</p>
子の健康・精神状態	主観的な健康状態	<p><子> あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(あてはまる番号1つにをつけてください)</p> <p>良い どちらかといえば良い ふつう どちらかといえば悪い 悪い</p>

中分類	小分類	設問文・選択肢
	子の労働環境	<子>「1 している」と答えた方に質問します。現在、アルバイトの勤務は週に何日くらいですか。また一日に平均して何時間くらい勤務していますか。 数値で回答
子の人間関係	一緒に過ごす相手	<子>あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。(あてはまる番号すべてに をつけてください) おうちの大人の人(お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど) 学校のとちもだち きょうだい クラブ活動の仲間 おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など) 学校以外のとちもだち(地域のスポーツクラブ、近所のとちもだちなど) ひとりである その他の人
	助けてくれる人	<子>あなたに1～8のことをしてくれる人はだれですか。(あてはまる番号すべてに をつけてください) 1 あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。 2 あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。 3 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。 4 ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている。 5 いつでも、あなたのことを信じてくれる。 6 あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。 7 あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれる。 8 あなたのことをとても大切にしてくれる。 お母さん とちもだち お父さん おじいさん・おばあさん きょうだい その他の人 誰もいない わからない
	大人への信頼	<子>あなたの周りには、親以外で、次のような大人はいますか。(あてはまるものすべてに) 信頼できる人 気軽に相談できる人 尊敬できる人 自分のことを大切にしてくれる人 道で会ったらあいさつしてくれる人 勉強をわかりやすく教えてくれる人 特にいない

中分類	小分類	設問文・選択肢
子の生活習慣	一緒に食事をする人	<p data-bbox="465 220 1697 252">< 子 > あなたは、だれといっしょに食事をしますか。A～D のそれぞれについて、あてはまるものにつけてください。</p> <p data-bbox="465 272 636 300">A 平日の朝食</p> <p data-bbox="465 320 636 347">B 平日の夕食</p> <p data-bbox="465 368 636 395">C 休日の朝食</p> <p data-bbox="465 416 636 443">D 休日の夕食</p> <p data-bbox="510 464 770 491">だれかといっしょに食べる</p> <p data-bbox="1010 464 1167 491">ひとりで食べる</p> <p data-bbox="1518 464 1615 491">食べない</p>
		<p data-bbox="465 560 1429 592">< 子 > (「だれかといっしょに食べる」と答えた人のみ)いっしょに食事をする人はだれですか。</p> <p data-bbox="465 612 636 639">A 平日の朝食</p> <p data-bbox="465 660 636 687">B 平日の夕食</p> <p data-bbox="465 708 636 735">C 休日の朝食</p> <p data-bbox="465 756 636 783">D 休日の夕食</p> <p data-bbox="510 804 568 831">母親</p> <p data-bbox="1025 804 1084 831">父親</p> <p data-bbox="1532 804 1644 831">兄弟姉妹</p> <p data-bbox="510 852 680 879">そのほかの家族</p> <p data-bbox="1025 852 1122 879">そのほか</p>
		<p data-bbox="465 900 2152 979">< 子 > あなたは、週にどのくらい、あなたのお母さん・お父さん・おばあさん・おじいさんなどの家族や親せきと、一緒に朝食を食べますか。(あてはまる番号 1 つに)</p> <p data-bbox="510 1000 613 1027">ほぼ毎日</p> <p data-bbox="1025 1000 1182 1027">週に 4～5 日</p> <p data-bbox="1532 1000 1688 1027">週に 2～3 日</p> <p data-bbox="510 1048 680 1075">週に 1 日程度</p> <p data-bbox="1025 1048 1211 1075">ほとんど食べない</p> <p data-bbox="465 1096 2152 1176">< 子 > あなたは、週にどのくらい、あなたのお母さん・お父さん・おばあさん・おじいさんなどの家族や親せきと、一緒に夕食を食べますか。(あてはまる番号 1 つに)</p> <p data-bbox="510 1197 613 1224">ほぼ毎日</p> <p data-bbox="1025 1197 1182 1224">週に 4～5 日</p> <p data-bbox="1532 1197 1688 1224">週に 2～3 日</p> <p data-bbox="510 1244 680 1272">週に 1 日程度</p> <p data-bbox="1025 1244 1211 1272">ほとんど食べない</p>

中分類	小分類	設問文・選択肢
	衛生習慣	<p><子>あなたは、歯磨きや入浴(風呂、シャワー)をしますか。</p> <p>A 歯磨き B 入浴</p> <p>毎日 2 回以上する しない日のほうが多い</p> <p>毎日 1 回する ほとんどしない</p> <p>する日のほうが多い</p>
	家の手伝い	<p><子>あなたは学校から帰って寝るまでにおうちの家事手伝い(食事の準備や片付け、洗濯やきょうだいの世話など)をどれくらいしますか。</p> <p>まったくしない 1 時間以上 ~ 1 時間 30 分より少ない</p> <p>30 分より少ない 1 時間 30 分以上 ~ 2 時間より少ない</p> <p>30 分以上 ~ 1 時間より少ない 2 時間以上</p>
	起床/就寝時間	<p><子>あなたは、学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。</p> <p>午前 6 時より前 午前 7 時 ~ 7 時 29 分 午前 8 時 30 分以降</p> <p>午前 6 時 ~ 6 時 29 分 午前 7 時 30 分 ~ 7 時 59 分 決まっていない</p> <p>午前 6 時 30 分 ~ 6 時 59 分 午前 8 時 ~ 8 時 29 分</p> <p><子>あなたは、次の日に学校がある日は、だいたい何時ごろに寝ますか。</p> <p>午後 9 時より前 午後 10 時 ~ 10 時 29 分 午後 11 時 30 分 ~ 11 時 59 分 午前 1 時以降</p> <p>午後 9 時 ~ 9 時 29 分 午後 10 時 30 分 ~ 10 時 59 分 午前 0 時 ~ 0 時 29 分 決まっていない</p> <p>午後 9 時 30 分 ~ 9 時 59 分 午後 11 時 ~ 11 時 29 分 午前 0 時 30 分 ~ 0 時 59 分</p> <p><子>あなたは、休日や夏休みなど学校がない日はだいたい朝何時ごろに起きますか。</p> <p>午前 6 時より前 午前 7 時 ~ 7 時 29 分 午前 8 時 30 分以降</p> <p>午前 6 時 ~ 6 時 29 分 午前 7 時 30 分 ~ 7 時 59 分 決まっていない</p> <p>午前 6 時 30 分 ~ 6 時 59 分 午前 8 時 ~ 8 時 29 分</p>

中分類	小分類	設問文・選択肢												
		<p><子> あなたは、休日や夏休みなどで、次の日に学校がない日は、だいたい何時ごろに寝ますか。</p> <table border="0"> <tr> <td>午後 9 時より前</td> <td>午後 9 時～9 時 29 分</td> <td>午後 9 時 30 分～9 時 59 分</td> </tr> <tr> <td>午後 10 時～10 時 29 分</td> <td>午後 10 時 30 分～10 時 59 分</td> <td>午後 11 時～11 時 29 分</td> </tr> <tr> <td>午後 11 時 30 分～11 時 59 分</td> <td>午前 0 時～0 時 29 分</td> <td>午前 0 時 30 分～0 時 59 分</td> </tr> <tr> <td>午前 1 時以降</td> <td>決まっていない</td> <td></td> </tr> </table>	午後 9 時より前	午後 9 時～9 時 29 分	午後 9 時 30 分～9 時 59 分	午後 10 時～10 時 29 分	午後 10 時 30 分～10 時 59 分	午後 11 時～11 時 29 分	午後 11 時 30 分～11 時 59 分	午前 0 時～0 時 29 分	午前 0 時 30 分～0 時 59 分	午前 1 時以降	決まっていない	
午後 9 時より前	午後 9 時～9 時 29 分	午後 9 時 30 分～9 時 59 分												
午後 10 時～10 時 29 分	午後 10 時 30 分～10 時 59 分	午後 11 時～11 時 29 分												
午後 11 時 30 分～11 時 59 分	午前 0 時～0 時 29 分	午前 0 時 30 分～0 時 59 分												
午前 1 時以降	決まっていない													
	食事の内容	<p><保護者> ひとりで晩ごはんを食べるとき、お子さんは何をよく食べていますか。特によく食べているものを教えてください。(1 つだけに)</p> <table border="0"> <tr> <td>親や兄弟姉妹が作ったもの</td> <td>祖父母が作ったもの</td> <td>自分(お子さん)が作ったもの</td> </tr> <tr> <td>スーパー・コンビニ等で買ったもの</td> <td>外食</td> <td>わからない</td> </tr> <tr> <td>あまりきまっていない</td> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	親や兄弟姉妹が作ったもの	祖父母が作ったもの	自分(お子さん)が作ったもの	スーパー・コンビニ等で買ったもの	外食	わからない	あまりきまっていない	その他				
親や兄弟姉妹が作ったもの	祖父母が作ったもの	自分(お子さん)が作ったもの												
スーパー・コンビニ等で買ったもの	外食	わからない												
あまりきまっていない	その他													
	食事をしない理由	<p><子> 前の質問で「毎日・ほぼ毎日」以外に回答された方におたずねします。あなたが朝ごはんを食べないとき、その理由は何ですか。(は 1 つ)</p> <table border="0"> <tr> <td>時間がない</td> <td>用意されていない</td> <td>食べたくない(おなかがすいていない)</td> </tr> <tr> <td>食べる習慣がない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	時間がない	用意されていない	食べたくない(おなかがすいていない)	食べる習慣がない								
時間がない		用意されていない	食べたくない(おなかがすいていない)											
食べる習慣がない														
	<p><子> 前の質問で「毎日・ほぼ毎日」以外に回答された方におたずねします。あなたが晩ごはんを食べないとき、その理由は何ですか。(は 1 つ)</p> <table border="0"> <tr> <td>時間がない</td> <td>用意されていない</td> <td>食べたくない(おなかがすいていない)</td> </tr> <tr> <td>食べる習慣がない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	時間がない	用意されていない	食べたくない(おなかがすいていない)	食べる習慣がない									
時間がない	用意されていない	食べたくない(おなかがすいていない)												
食べる習慣がない														
	通学環境	<p><子> あなたは通っている学校に遅刻することがありますか。(1 つに)</p> <table border="0"> <tr> <td>遅刻はしない</td> <td>週に 1 回程度</td> <td>週に 2～3 回</td> </tr> <tr> <td>毎日・ほとんど毎日</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	遅刻はしない	週に 1 回程度	週に 2～3 回	毎日・ほとんど毎日								
遅刻はしない		週に 1 回程度	週に 2～3 回											
毎日・ほとんど毎日														
	<p><保護者> お子さんの通学状況はどうですか。(1 つに)</p> <table border="0"> <tr> <td>ほぼ毎日通学している</td> <td>遅刻気味ではあるが、ほぼ毎日通学している</td> </tr> <tr> <td>欠席が年間 30 日未満</td> <td>欠席が年間 30 日以上 60 日未満</td> </tr> <tr> <td>欠席が年間 60 日以上 1 年未満</td> <td>欠席が 1 年以上続いている</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td></td> </tr> </table>	ほぼ毎日通学している	遅刻気味ではあるが、ほぼ毎日通学している	欠席が年間 30 日未満	欠席が年間 30 日以上 60 日未満	欠席が年間 60 日以上 1 年未満	欠席が 1 年以上続いている	わからない						
ほぼ毎日通学している	遅刻気味ではあるが、ほぼ毎日通学している													
欠席が年間 30 日未満	欠席が年間 30 日以上 60 日未満													
欠席が年間 60 日以上 1 年未満	欠席が 1 年以上続いている													
わからない														

中分類	小分類	設問文・選択肢		
		<p>< 子 > 通学時間についてお聞きします。あなたの家を出てから学校に着くまでどれくらい時間がかかりますか。</p>		
		15 分より少ない	15 分以上～30 分より少ない	30 分以上～45 分より少ない
		45 分以上～1 時間より少ない	1 時間以上～1 時間 30 分より少ない	1 時間 30 分以上～2 時間より少ない
		2 時間以上		
	日常の過ごし方	<p>< 子 > あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに)</p>		
		<p>A ゲーム機で遊ぶ B テレビを見る C インターネットを見る D スマートフォン、携帯電話でメールや LINE をする E 室内でのほかの活動(読書、室内遊びなど) F 公園で遊ぶ G 塾や習い事 H 家事(洗濯、掃除、料理など) I 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護</p>		
		毎日 2 時間以上	毎日 1～2 時間	毎日 1 時間以下
		1 週間に 4～5 日	1 週間に 2～3 日	1 週間に 1 日
		ぜんぜんしない		
		<p>< 保護者 > お子さんは、放課後をどのように過ごすことが多いですか。あてはまるものを三つまで選んでください。</p>		
		家族(大人を含む)で過ごす	自宅で、子ども(兄弟姉妹)だけで過ごす	
		自宅で、ひとりで過ごす	祖父母宅(親戚宅)で、祖父母(親戚)と過ごす	
		学童クラブに通っている	学校の部活動をしている	
		塾や習い事に行く	子どもだけで、公民館・児童館などに遊びに行く	
		子どもだけで、友人宅や近所の公園などで遊ぶ	小学生・中学生の子はいない	

中分類	小分類	設問文・選択肢									
	コミュニケーション量	<p><保護者> あなたがお子さんと一緒に遊びや料理、会話等をする時間は1日あたりどのくらいですか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに)</p> <p>A 平日</p> <p>B 休日</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">0～15分未満</td> <td style="width: 33%;">15分～30分未満</td> <td style="width: 33%;">30分～1時間未満</td> </tr> <tr> <td>1時間～2時間未満</td> <td>2時間～3時間未満</td> <td>3時間～4時間以上未満</td> </tr> <tr> <td>4時間以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	0～15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間以上未満	4時間以上		
		0～15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満							
	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間以上未満								
4時間以上											
<p><保護者> 父や母は、お子さんと一緒に過ごす時間がとれていると思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。(父と母で状況が違う場合は、家庭として最もあてはまるものを選んでください。)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">十分に取れている</td> <td style="width: 50%;">十分ではないが、とれている</td> </tr> <tr> <td>仕事が忙しく、あまりとれていない</td> <td>仕事ではないが、家事などで忙しく、あまりとれていない</td> </tr> <tr> <td>習い事や部活などで子どもが忙しく、あまりとれていない</td> <td>子どもが親を避けがちになり、あまりとれていない</td> </tr> <tr> <td>時間を作ろうとしていないので、あまりとれていない</td> <td>とれていない</td> </tr> </table>	十分に取れている	十分ではないが、とれている	仕事が忙しく、あまりとれていない	仕事ではないが、家事などで忙しく、あまりとれていない	習い事や部活などで子どもが忙しく、あまりとれていない	子どもが親を避けがちになり、あまりとれていない	時間を作ろうとしていないので、あまりとれていない	とれていない			
十分に取れている	十分ではないが、とれている										
仕事が忙しく、あまりとれていない	仕事ではないが、家事などで忙しく、あまりとれていない										
習い事や部活などで子どもが忙しく、あまりとれていない	子どもが親を避けがちになり、あまりとれていない										
時間を作ろうとしていないので、あまりとれていない	とれていない										
信頼性	<p><保護者> あなたは、お子さんを信頼していますか。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">とても信頼している</td> <td style="width: 33%;">信頼している</td> <td style="width: 33%;">あまり信頼していない</td> </tr> <tr> <td>信頼していない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	とても信頼している	信頼している	あまり信頼していない	信頼していない						
とても信頼している	信頼している	あまり信頼していない									
信頼していない											
保護者の健康・精神状態	<p>健康診断の受診状況</p> <p><保護者> あなた(主な生計維持者)は、定期的に健康診断を受けていますか。(SA)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">はい</td> <td style="width: 33%;">いいえ</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p><保護者> 「いいえ」と答えた方にお尋ねします。その理由を教えてください。(SA)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">時間がない</td> <td style="width: 33%;">健康だから</td> <td style="width: 33%;">金銭的な余裕がない</td> </tr> <tr> <td>きっかけがない</td> <td>何となく</td> <td></td> </tr> </table>	はい	いいえ		時間がない	健康だから	金銭的な余裕がない	きっかけがない	何となく		
はい	いいえ										
時間がない	健康だから	金銭的な余裕がない									
きっかけがない	何となく										

中分類	小分類	設問文・選択肢																						
	生活への満足度	<p data-bbox="472 220 1061 252">< 保護者 > あなたの心の状態についておたずねします。</p> <p data-bbox="472 268 1196 300">(1) 生活を楽しくしていますか。(仕事や家事、育児など)(1 つに)</p> <table data-bbox="510 316 1765 400"> <tr> <td data-bbox="510 316 1016 347">とても楽しんでいる</td> <td data-bbox="1016 316 1523 347">楽しんでいる</td> <td data-bbox="1523 316 2168 347">あまり楽しんでいる</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 363 1016 395">楽しんでいる</td> <td data-bbox="1016 363 1523 395">わからない</td> <td></td> </tr> </table> <p data-bbox="472 459 1043 491">(2) 将来に対して希望を持っていますか。(1 つに)</p> <table data-bbox="510 507 1794 592"> <tr> <td data-bbox="510 507 1285 539">希望が持てる</td> <td data-bbox="1285 507 2168 539">希望が持てるときもあれば、持てないときもある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 555 1285 587">希望が持てない</td> <td data-bbox="1285 555 2168 587">わからない</td> </tr> </table> <p data-bbox="472 651 1061 683">(3) ストレスを発散できるものがありますか。(1 つに)</p> <table data-bbox="510 699 1585 783"> <tr> <td data-bbox="510 699 1016 730">ある</td> <td data-bbox="1016 699 1523 730">あるときもあれば、ないときもある</td> <td data-bbox="1523 699 2168 730">ない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 746 1016 778">わからない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p data-bbox="472 842 1061 874">(4) あなたはご自分が幸せだと思いますか。(1 つに)</p> <table data-bbox="510 890 1787 975"> <tr> <td data-bbox="510 890 1016 922">とても幸せだと思う</td> <td data-bbox="1016 890 1523 922">幸せだと思う</td> <td data-bbox="1523 890 2168 922">あまり幸せだと思わない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 938 1016 970">幸せだと思わない</td> <td data-bbox="1016 938 1523 970">わからない</td> <td></td> </tr> </table>	とても楽しんでいる	楽しんでいる	あまり楽しんでいる	楽しんでいる	わからない		希望が持てる	希望が持てるときもあれば、持てないときもある	希望が持てない	わからない	ある	あるときもあれば、ないときもある	ない	わからない			とても幸せだと思う	幸せだと思う	あまり幸せだと思わない	幸せだと思わない	わからない	
とても楽しんでいる	楽しんでいる	あまり楽しんでいる																						
楽しんでいる	わからない																							
希望が持てる	希望が持てるときもあれば、持てないときもある																							
希望が持てない	わからない																							
ある	あるときもあれば、ないときもある	ない																						
わからない																								
とても幸せだと思う	幸せだと思う	あまり幸せだと思わない																						
幸せだと思わない	わからない																							
	悩みごと	<p data-bbox="472 994 1765 1026">< 保護者 > あなたは、現在、ご自身の生活に関して、どのようなことについて悩んでいますか。(あてはまるものすべてに)</p> <table data-bbox="510 1042 1653 1217"> <tr> <td data-bbox="510 1042 1016 1074">生活費</td> <td data-bbox="1016 1042 1523 1074">子どもの養育費</td> <td data-bbox="1523 1042 2168 1074">仕事</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1090 1016 1121">住宅</td> <td data-bbox="1016 1090 1523 1121">健康</td> <td data-bbox="1523 1090 2168 1121">対人関係</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1137 1016 1169">自身の老後</td> <td data-bbox="1016 1137 1523 1169">家族</td> <td data-bbox="1523 1137 2168 1169">その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1185 1016 1217">特になし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	生活費	子どもの養育費	仕事	住宅	健康	対人関係	自身の老後	家族	その他	特になし												
生活費	子どもの養育費	仕事																						
住宅	健康	対人関係																						
自身の老後	家族	その他																						
特になし																								

中分類	小分類	設問文・選択肢																		
		<p><保護者> お子さんに関する次のような悩みはありますか。(あてはまるものすべてに)</p> <table border="0"> <tr> <td>発育・発達</td> <td>病気・健康問題</td> <td>しつけ</td> </tr> <tr> <td>友人関係</td> <td>進学・進路</td> <td>学力</td> </tr> <tr> <td>いじめ</td> <td>不登校</td> <td>異性関係</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>特にない</td> <td></td> </tr> </table>	発育・発達	病気・健康問題	しつけ	友人関係	進学・進路	学力	いじめ	不登校	異性関係	その他	特にない							
発育・発達	病気・健康問題	しつけ																		
友人関係	進学・進路	学力																		
いじめ	不登校	異性関係																		
その他	特にない																			
保護者の人間関係	助けてくれる人	<p><保護者> おうちの方を含め(子どもは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。1～7について教えてください。(それぞれ は1つ)</p> <p>A 心配ごとや悩みごとに親身になって聞いてくれる人 B あなたの気持ちを察して思いやってくれる人 C 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人 D 子どものかかわりについて、適切な助言をしてくれる人 E 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人(運動や文化活動) F 子供の体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人 G 留守を頼める人</p> <table border="0"> <tr> <td>いる</td> <td>いない</td> <td>わからない</td> </tr> </table> <p><保護者> もしも、あなたや配偶者が不慮の事故で入院するなど、お子さん(きょうだいを含む)の面倒をみられなくなったときに、代わって子どもの面倒をみしてくれる人はいますか。主な人 1 人に をつけてください。</p> <table border="0"> <tr> <td>お子さんの祖父母</td> <td>お子さんのおじやおば</td> <td>その他の親せき</td> </tr> <tr> <td>職場の人</td> <td>近所の人</td> <td>その他の友人・知人</td> </tr> <tr> <td>面倒を見てくれる人はいない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><保護者> 1～6 と答えた方におうかがいします。その人に、どのくらいの期間お子さんの世話を頼めそうですか。あてはまるもの 1 つに をつけてください。</p> <table border="0"> <tr> <td>2 3 日程度</td> <td>1 週間程度</td> <td>必要なだけ</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	いる	いない	わからない	お子さんの祖父母	お子さんのおじやおば	その他の親せき	職場の人	近所の人	その他の友人・知人	面倒を見てくれる人はいない			2 3 日程度	1 週間程度	必要なだけ	わからない		
いる	いない	わからない																		
お子さんの祖父母	お子さんのおじやおば	その他の親せき																		
職場の人	近所の人	その他の友人・知人																		
面倒を見てくれる人はいない																				
2 3 日程度	1 週間程度	必要なだけ																		
わからない																				

(3) 保護者の就労

中分類	小分類	設問文・選択肢																											
就労内容	世帯の稼ぎ手	<p>< 保護者 > あなたのご家庭の生活費の稼ぎ手となっている方について、お子さんから見た続柄をお答えください。(当てはまるもの全てに)</p> <table border="0"> <tr> <td>母親</td> <td>父親</td> <td>祖父母</td> </tr> <tr> <td>兄弟などのきょうだい</td> <td>おじ、おばなど親族</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>いない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	母親	父親	祖父母	兄弟などのきょうだい	おじ、おばなど親族	その他	いない																				
母親	父親	祖父母																											
兄弟などのきょうだい	おじ、おばなど親族	その他																											
いない																													
労働環境	勤務時間帯	<p>< 保護者 > (母親が働いている人のみ)お母さんは、残業を含めて、平日の日中(8時～20時)以外の勤務がありますか。【複数回答】</p> <table border="0"> <tr> <td>早朝(5時～8時)</td> <td>夜勤(20時～22時)</td> <td>深夜勤務(22時～5時)</td> </tr> <tr> <td>土曜出勤</td> <td>日曜・祝日出勤</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平日の日中以外の勤務はない</td> </tr> </table> <p>< 保護者 > (父親が働いている人のみ)お父さんは、残業を含めて、平日の日中(8時～20時)以外の勤務がありますか。【複数回答】</p> <table border="0"> <tr> <td>早朝(5時～8時)</td> <td>夜勤(20時～22時)</td> <td>深夜勤務(22時～5時)</td> </tr> <tr> <td>土曜出勤</td> <td>日曜・祝日出勤</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平日の日中以外の勤務はない</td> </tr> </table> <p>< 保護者 > お子さんのご両親のどちらか、または両方が働いている方におたずねします。仕事から帰宅する時間で、最も多い時間帯をお答えください。(それぞれ1つに、ひとり親家庭の方はいずれか1つに)</p> <p>ア．母親</p> <p>イ．父親</p> <table border="0"> <tr> <td>16時頃まで</td> <td>16時～18時頃まで</td> <td>18時～20時頃まで</td> </tr> <tr> <td>20時～22時頃まで</td> <td>22時～0時頃まで</td> <td>0時～朝まで</td> </tr> <tr> <td colspan="3">帰宅時間は決まっていない</td> </tr> </table>	早朝(5時～8時)	夜勤(20時～22時)	深夜勤務(22時～5時)	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他			平日の日中以外の勤務はない	早朝(5時～8時)	夜勤(20時～22時)	深夜勤務(22時～5時)	土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他			平日の日中以外の勤務はない	16時頃まで	16時～18時頃まで	18時～20時頃まで	20時～22時頃まで	22時～0時頃まで	0時～朝まで	帰宅時間は決まっていない		
早朝(5時～8時)	夜勤(20時～22時)	深夜勤務(22時～5時)																											
土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他																											
		平日の日中以外の勤務はない																											
早朝(5時～8時)	夜勤(20時～22時)	深夜勤務(22時～5時)																											
土曜出勤	日曜・祝日出勤	その他																											
		平日の日中以外の勤務はない																											
16時頃まで	16時～18時頃まで	18時～20時頃まで																											
20時～22時頃まで	22時～0時頃まで	0時～朝まで																											
帰宅時間は決まっていない																													

(4) 子・保護者の経験

中分類	小分類	設問文・選択肢
子の経験	転居の経験	<p>< 保護者 > あなたのご家庭では、過去 5 年の間に、何回転居しましたか。(あてはまる番号 1 つに)</p> <p>0 回(過去 5 年間で転居はしていない) 1 回 2 回</p> <p>3 回以上</p>
保護者の経験	保護者になった年齢	<p>< 保護者 > 主な生計維持者についてお尋ねします。あなたが初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)(SA)</p> <p>10 代 20～24 歳 25～29 歳</p> <p>30～34 歳 35～39 歳 40 歳以上</p>
	保護者になってからの経験	<p>< 保護者 > あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに)</p> <p>(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある</p> <p>育児放棄になった時期がある 出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある</p> <p>わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある しつけが厳しすぎるのではないかと考えたことがある</p> <p>自殺を考えたことがある 1～7 のいずれも経験したことがない</p>
	保護者の幼少期の家族構成	<p>< 保護者 > あなたが 15 歳の頃のご家庭の様子に最も近いものを教えてください。(あてはまる番号 1 つに)</p> <p>両親世帯(祖父母との同居あり) 両親世帯(祖父母との同居なし) 母子世帯(祖父母との同居あり)</p> <p>母子世帯(祖父母との同居なし) 父子世帯(祖父母との同居あり) 父子世帯(祖父母との同居なし)</p> <p>児童養護施設などの施設 その他</p>
保護者の幼少期の経験	<p>< 保護者 > あなたの親は子供のころのあなたに対しどのように接していましたか。最も近いと思うものに をつけてください。</p> <p>A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた</p> <p>B 自分が喜ぶことをしてくれた</p> <p>C 悪いことをするとしかられた</p> <p>D やらなければいけないことを何度も言われた</p> <p>E 不安や苛立ちを、ぶつけられた</p> <p>とてもそう思う そう思う あまりそう思わない</p> <p>そう思わない わからない</p>	

中分類	小分類	設問文・選択肢									
		<p data-bbox="472 225 1626 256">< 保護者 > あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに)</p> <table data-bbox="472 268 1845 395"> <tr> <td data-bbox="472 268 1003 304">両親が離婚した</td> <td data-bbox="1003 268 1503 304">親が生活保護を受けていた</td> <td data-bbox="1503 268 2168 304">母親が亡くなった</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 316 1003 352">父親が亡くなった</td> <td data-bbox="1003 316 1503 352">親から暴力を振るわれた</td> <td data-bbox="1503 316 2168 352">育児放棄(ネグレクト)された</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="472 363 2168 395">1～6のいずれも経験したことがない</td> </tr> </table>	両親が離婚した	親が生活保護を受けていた	母親が亡くなった	父親が亡くなった	親から暴力を振るわれた	育児放棄(ネグレクト)された	1～6のいずれも経験したことがない		
両親が離婚した	親が生活保護を受けていた	母親が亡くなった									
父親が亡くなった	親から暴力を振るわれた	育児放棄(ネグレクト)された									
1～6のいずれも経験したことがない											
	保護者の幼少期の暮らし向き	<p data-bbox="472 419 1379 451">< 保護者 > あなたが 15 歳のころの家庭の暮らしの状況は、どうだったと感じますか。</p> <table data-bbox="472 464 1688 544"> <tr> <td data-bbox="472 464 1003 501">ゆとりがある</td> <td data-bbox="1003 464 1503 501">ややゆとりがある</td> <td data-bbox="1503 464 2168 501">どちらでもない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 512 1003 549">やや苦しい</td> <td data-bbox="1003 512 1503 549">苦しい</td> <td></td> </tr> </table>	ゆとりがある	ややゆとりがある	どちらでもない	やや苦しい	苦しい				
ゆとりがある	ややゆとりがある	どちらでもない									
やや苦しい	苦しい										

中分類	小分類	設問文・選択肢		
		<p><保護者>この調査の対象となっているお子さん 1 人について、学校以外の教育(学習塾や習い事)にかかる 1 か月あたりの平均の支出はどれくらいですか。あてはまる番号 1 つに をしてください。</p>		
		支出はまったくない	5 千円～1 万円未満	1 万円～1 万 5 千円未満
		1 万 5 千円～2 万円未満	2 万円～2 万 5 千円未満	2 万 5 千円～3 万円未満
		3～4 万円未満	4～5 万円未満	5 万円以上
	支出の内訳(生活費)	<p><保護者>あなたの世帯(生計を共にしている方)の 1 か月の平均的な支出(住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない)はどれくらいですか。あてはまる番号 1 つに をしてください。</p>		
		支出はまったくない	1～5 万円未満	5～10 万円未満
		10～15 万円未満	15～20 万円未満	20～30 万円未満
		30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上
		<p><保護者>あなたの世帯(生計を共にしている方)の 1 か月の食費についての平均的な支出はどれくらいですか。あてはまる番号 1 つに をしてください。</p>		
		支出はまったくない	5 千円～1 万円未満	1 万円～1 万 5 千円未満
		1 万 5 千円～2 万円未満	2 万円～2 万 5 千円未満	2 万 5 千円～3 万円未満
		3～4 万円未満	4～5 万円未満	5～6 万円未満
		6～7 万円未満	7～8 万円未満	8～9 万円未満
		9～10 万円未満	10 万円以上	
		<p><保護者>あなたの世帯(生計を共にしている方)の 1 か月の住居費についての平均的な支出はどれくらいですか。あてはまる番号 1 つに をしてください。</p>		
		支出はまったくない	5 千円～1 万円未満	1 万円～1 万 5 千円未満
		1 万 5 千円～2 万円未満	2 万円～2 万 5 千円未満	2 万 5 千円～3 万円未満
		3～4 万円未満	4～5 万円未満	5～6 万円未満
		6～7 万円未満	7～8 万円未満	8～9 万円未満
		9～10 万円未満	10 万円以上	

中分類	小分類	設問文・選択肢																																			
剥奪・滞納	お小遣い	<p><子> おこづかいについておたずねします。</p> <p>(1) あなたは、毎月、いくらおこづかいをもらっていますか。(時々もらう場合は、1 か月のおおよその平均の金額に をつけてください。ただしお年玉はのぞきます。)(あてはまる番号 1 つに をつけてください)</p> <table border="0"> <tr> <td>500 円より少ない</td> <td>500～999 円</td> <td>1000～1499 円</td> </tr> <tr> <td>1500～1999 円</td> <td>2000～2499 円</td> <td>2500～2999 円</td> </tr> <tr> <td>3000～3499 円</td> <td>3500～3999 円</td> <td>4000～4499 円</td> </tr> <tr> <td>4500～4999 円</td> <td>5000 円以上</td> <td>もらっていない</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 毎月のおこづかいは、たりていますか。(あてはまる番号 1 つに をつけてください)</p> <table border="0"> <tr> <td>十分たりている</td> <td>どちらかと言えば、たりている</td> <td>ややたりない</td> </tr> <tr> <td>まったく、たりない</td> <td>わからない</td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。(あてはまる番号 1 つに をつけてください)</p> <table border="0"> <tr> <td>ともだちとの遊び</td> <td>学校で使う必要なもの</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>マンガ</td> <td>食べ物や飲み物</td> <td>ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)</td> </tr> <tr> <td>貯金</td> <td>音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			500 円より少ない	500～999 円	1000～1499 円	1500～1999 円	2000～2499 円	2500～2999 円	3000～3499 円	3500～3999 円	4000～4499 円	4500～4999 円	5000 円以上	もらっていない	わからない			十分たりている	どちらかと言えば、たりている	ややたりない	まったく、たりない	わからない		ともだちとの遊び	学校で使う必要なもの	本	マンガ	食べ物や飲み物	ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)	貯金	音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)	その他	わからない		
		500 円より少ない	500～999 円	1000～1499 円																																	
1500～1999 円	2000～2499 円	2500～2999 円																																			
3000～3499 円	3500～3999 円	4000～4499 円																																			
4500～4999 円	5000 円以上	もらっていない																																			
わからない																																					
十分たりている	どちらかと言えば、たりている	ややたりない																																			
まったく、たりない	わからない																																				
ともだちとの遊び	学校で使う必要なもの	本																																			
マンガ	食べ物や飲み物	ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)																																			
貯金	音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)	その他																																			
わからない																																					
できなかった体験	<p><子> あなたは次に書いてあることを家族とすること(したこと)がありますか。(あてはまるものすべてに)</p> <table border="0"> <tr> <td>本や絵本を読んでもらう</td> <td>手作りのおやつを作る</td> <td>図書館に行く</td> </tr> <tr> <td>動物園や水族館に行く</td> <td>美術館や博物館に行く</td> <td>音楽会やコンサートに行く</td> </tr> <tr> <td>映画や演劇を観に行く</td> <td>新聞やニュースについて話す</td> <td>パソコンで調べものをする</td> </tr> <tr> <td>日帰りで遊びに行く</td> <td>泊まりで家族旅行に行く</td> <td>祖父母や親せきの家に泊まりに行く</td> </tr> <tr> <td>学校の行事に来てもらう</td> <td>地域の行事に参加する</td> <td>あてはまるものはない</td> </tr> </table>			本や絵本を読んでもらう	手作りのおやつを作る	図書館に行く	動物園や水族館に行く	美術館や博物館に行く	音楽会やコンサートに行く	映画や演劇を観に行く	新聞やニュースについて話す	パソコンで調べものをする	日帰りで遊びに行く	泊まりで家族旅行に行く	祖父母や親せきの家に泊まりに行く	学校の行事に来てもらう	地域の行事に参加する	あてはまるものはない																			
本や絵本を読んでもらう	手作りのおやつを作る	図書館に行く																																			
動物園や水族館に行く	美術館や博物館に行く	音楽会やコンサートに行く																																			
映画や演劇を観に行く	新聞やニュースについて話す	パソコンで調べものをする																																			
日帰りで遊びに行く	泊まりで家族旅行に行く	祖父母や親せきの家に泊まりに行く																																			
学校の行事に来てもらう	地域の行事に参加する	あてはまるものはない																																			

中分類	小分類	設問文・選択肢
		<p data-bbox="465 220 2152 300">< 保護者 > あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～I について、「1 している」「2 していない、したくない(方針でしない)」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="465 316 728 347">A 毎月お小遣いを渡す <li data-bbox="465 363 792 395">B 毎年新しい洋服・靴を買う <li data-bbox="465 411 987 443">C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる <li data-bbox="465 459 1037 491">D 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう) <li data-bbox="465 507 768 539">E お誕生日のお祝いをする <li data-bbox="465 555 857 587">F 1年に1回以上家族旅行に行く <li data-bbox="465 603 817 635">G クリスマスのプレゼントをあげる <li data-bbox="465 651 745 683">H 正月のお年玉をあげる <li data-bbox="465 699 909 730">I 子どもの学校行事などへ親が参加する <p data-bbox="510 746 600 778">している</p> <p data-bbox="1025 746 1312 778">していない(方針でしない)</p> <p data-bbox="1529 746 1731 778">経済的にできない</p>

中分類	小分類	設問文・選択肢			
	持っていないもの	<p data-bbox="465 225 1592 256">< 子 > あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに)</p> <p data-bbox="465 272 987 304">A 自分だけの本(学校の教科書やマンガは除く)</p> <p data-bbox="465 320 1003 352">B 子供部屋(兄弟姉妹と使っている場合も含む)</p> <p data-bbox="465 368 936 400">C (自宅で)インターネットにつながるパソコン</p> <p data-bbox="465 416 882 448">D 自宅で宿題をすることができる場所</p> <p data-bbox="465 464 719 496">E 自分専用の勉強机</p> <p data-bbox="465 512 1048 544">F スポーツ用品(野球のグローブや,サッカーボールなど)</p> <p data-bbox="465 560 600 592">G ゲーム機</p> <p data-bbox="465 608 887 639">H たいていの友達が持っているおもちゃ</p> <p data-bbox="465 655 577 687">I 自転車</p> <p data-bbox="465 703 965 735">J おやつや,ちょっとしたおもちゃを買うお小遣い</p> <p data-bbox="465 751 853 783">K 友達が着ているのと同じような服</p> <p data-bbox="465 799 808 831">L 2 足以上のサイズの合った靴</p> <p data-bbox="465 847 770 879">M 携帯電話,スマートフォン</p> <p data-bbox="465 895 725 927">N 携帯音楽プレーヤー</p>	ある	ない / ほしい	ない / ほしくない

(7) 支援の状況・希望

中分類	小分類	設問文・選択肢
支援の状況	支援の充足度	<p>< 保護者 > あなたが、これまでに実際に利用してよかった、助かったと思う支援制度はどのようなものですか。(はいくつでも)</p> <p>専門の相談員やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等への相談 保育所や幼稚園の保育料等の減額や免除 就学資金の貸付、奨学金 公的機関窓口(市役所、福祉事務所、教育委員会、児童相談所等)での相談 子どもの一時預かり(放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延長保育等を含む) 病時や病後の子どもの一時預かり 生活困窮者やひとり親家庭への就職サポート(就労相談、職業訓練給付金等) 子どもの医療費助成 障がい・難病等の手当(特別児童扶養手当) 生活に必要な資金の貸付(母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金等) その他</p> <p>小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料援助 無料または低料金で利用できる家庭教師、学習支援 住宅費が軽減される援助 生活保護 児童扶養手当、ひとり親医療</p>
		<p>< 保護者 > 就学援助を利用していると答えた方にお聞きます。現在の就学援助について、学校にかかる経費をカバーできていますか。あなたのお考えにもっとも近いものを選んでください。(は 1 つ)</p> <p>十分にカバーできている カバーできていない</p> <p>カバーできている あまりカバーできていない</p>

中分類	小分類	設問文・選択肢																
	支援情報の収集方法	<p>< 保護者 > あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。(それぞれ、あてはまる番号すべてに)</p> <p>A 現在の受け取り方法</p> <p>B 今後、受け取りたい方法</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">行政機関の広報誌</td> <td style="width: 33%;">行政機関のホームページ</td> <td style="width: 33%;">SNS(LINE、ツイッターなど)</td> </tr> <tr> <td>学校からのお便り(紙のもの)</td> <td>学校からのメール</td> <td>家族や友人からの情報</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	SNS(LINE、ツイッターなど)	学校からのお便り(紙のもの)	学校からのメール	家族や友人からの情報	その他									
行政機関の広報誌	行政機関のホームページ	SNS(LINE、ツイッターなど)																
学校からのお便り(紙のもの)	学校からのメール	家族や友人からの情報																
その他																		
支援の希望	支援制度への要望	<p>< 保護者 > 子どもが安心して生活できるようにするためにはどのような仕組みや制度が必要だと思いますか。(は3つまで)</p> <p>市の広報誌やホームページを通じて、福祉制度や支援策に関する情報提供を行うこと</p> <p>スマートフォンのアプリなどで、福祉制度や支援策に関する情報提供を行うこと</p> <p>保育所・幼稚園・学校等を通じて、福祉制度や支援策に関する情報提供を行うこと</p> <p>病院を通じて、福祉制度や支援策に関する情報提供を行うこと</p> <p>子どもの病気や障がいに関する具体的な助言が受けられるようにすること</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">同じような悩みを持つ保護者同士で知り合える場があること</td> <td style="width: 50%;">相談窓口等を行きやすい雰囲気にする</td> </tr> <tr> <td>休日や夜間でも対応している相談窓口を増やすこと</td> <td>民生委員・児童委員など地域の人からの支援が受けられること</td> </tr> <tr> <td>就職のための支援が受けられること</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者に病気や出産、事故などの事情があった時に、一時的に子どもを預けられること</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子どもの就学に関する費用が軽減されること</td> <td>子育てに必要な資金を一時的に借りられること</td> </tr> <tr> <td>子育て中の家事の援助が受けられること</td> <td>子どもの学習に関する支援が受けられること</td> </tr> <tr> <td>子どもの食事の提供などの生活の支援が受けられること</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td></td> </tr> </table>	同じような悩みを持つ保護者同士で知り合える場があること	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口を増やすこと	民生委員・児童委員など地域の人からの支援が受けられること	就職のための支援が受けられること		保護者に病気や出産、事故などの事情があった時に、一時的に子どもを預けられること		子どもの就学に関する費用が軽減されること	子育てに必要な資金を一時的に借りられること	子育て中の家事の援助が受けられること	子どもの学習に関する支援が受けられること	子どもの食事の提供などの生活の支援が受けられること	その他	わからない	
同じような悩みを持つ保護者同士で知り合える場があること	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする																	
休日や夜間でも対応している相談窓口を増やすこと	民生委員・児童委員など地域の人からの支援が受けられること																	
就職のための支援が受けられること																		
保護者に病気や出産、事故などの事情があった時に、一時的に子どもを預けられること																		
子どもの就学に関する費用が軽減されること	子育てに必要な資金を一時的に借りられること																	
子育て中の家事の援助が受けられること	子どもの学習に関する支援が受けられること																	
子どもの食事の提供などの生活の支援が受けられること	その他																	
わからない																		

(8) その他（回答者属性等）

中分類	小分類	設問文・選択肢		
子供	子の身長・体重	<子>現在のあなたの身長と体重について、近いものをそれぞれ選んでください。(あてはまる番号1つにをつけてください)		
		A 身長		
		124.9cm 以下	125cm ~ 129.9cm	130cm ~ 134.9cm
		135cm ~ 139.9cm	140cm ~ 144.9cm	145cm ~ 149.9cm
		150cm ~ 154.9cm	155cm ~ 159.9cm	160cm ~ 164.9cm
		165cm ~ 169.9cm	170cm ~ 174.9cm	175cm ~ 179.9cm
		180cm 以上	わからない	
		B 体重		
		24.9kg 以下	25kg ~ 29.9kg	30kg ~ 34.9kg
		35kg ~ 39.9kg	40kg ~ 44.9kg	45kg ~ 49.9kg
		50kg ~ 54.9kg	55kg ~ 59.9kg	60kg ~ 64.9kg
		65kg ~ 69.9kg	70kg ~ 74.9kg	75kg ~ 79.9kg
		80kg 以上	わからない	
	誕生月	<子>あなたの生まれた年と月を書いてください。		
		4月生	5月生	6月生
		7月生	8月生	9月生
		10月生	11月生	12月生
		1月生	2月生	3月生
保護者	回答者の年齢	<保護者>あなたの年齢を教えてください。		
		20歳未満	20 ~ 24歳	25 ~ 29歳
		30 ~ 34歳	35 ~ 39歳	40 ~ 44歳
		45 ~ 49歳	50 ~ 54歳	55 ~ 59歳
		60歳以上		

別添 3 : 論文リスト

掲載順は 2.2 で言及した順による。

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
1	Skills for social progress: The power of social and emotional skills (社会的進歩のためのスキル 社会的・情緒的スキルの力)	Miyamoto K, Huerta M, Ikesako H	OECD Skills Studies 2015	<p>① OECD に加盟する 9 か国における縦断的研究から、経済的・社会的アウトカムを改善するために、認知スキルと社会的・情緒的スキルの両方が重要な役割を果たすことが示されている。子供の認知スキルのレベルを上げることは、高等教育への参加と労働市場のアウトカムに特に強い影響を与える。また、忍耐力、自尊心、社交性などの社会的・情緒的スキルのレベルを上げると、健康関連のアウトカムと主観的な幸福の改善に加えて、反社会的行動の減少に特に強い影響を与える可能性が示された。社会的・情緒的スキルの基盤として、研究結果は、良心、社交性、および感情の安定性が重要であることを示している。社会的・情緒的スキルは単独では役割を果たさず、認知スキルと相互作用し、子供が将来、人生の後半で肯定的なアウトカムを達成する可能性をさらに高める。</p> <p>② 学校教育においても、正規授業・課外活動のいずれも、教師と子供の関係強化を通じてこれらのスキルを高める可能性がある。</p>	認知能力 非認知スキル
2	非認知的（社会情緒的）能力の発達と科学的検証手法についての研究に関する報告書	遠藤利彦ほか	国立教育政策研究所 平成 27 年度プロジェクト研究報告書 2017 年	<p>① 研究動向のレビューから、現在、多くの研究が「非認知能力」の重要性を主張することを確認したうえで、その具体的な内容として、個人の適応や社会的帰結への予測力という点から重要であると考えられるものを可能な限り列挙し、その特徴、特性を明らかにする。</p> <p>② また、乳幼児期から成人に至るまでの発達過程における成長という時間軸上で、どのような非認知的能力が個人に発現し、あるいは獲得されていくのかという発達についての整理を行う。</p> <p>③ さらに、非認知的能力の具体的な内容に関する研究手法、測定手法について検討する。</p>	非認知スキル

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
3	平成 19 年度全国学力・学習状況調査追加分析結果 児童生徒の生活の諸側面等に関する分析	文部科学省	文部科学省 HP (https://www.EXT.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/08020513/001/002.htm) 2008 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 質問紙調査から得られたデータを用いて、学力調査の正答数を基準変数とする重回帰分析を行い、学力との関係が強い項目を探索するとともに家庭における生活習慣・学習習慣に関する分析を行う。 ② 児童生徒自身の関心・意欲・態度や生活習慣と正答数の関係が強い傾向が見られた。また、学校の取組や学習指導も正答数に関係していた。 ③ 正答数に大きく関係している「朝食」、「家庭での学習」、「宿題」は、相互に密接な関係があり、例えば朝食を毎日食べている児童生徒ほど、家庭で長い時間学習をし、宿題をよくしている傾向が見られる。また、基本的な生活習慣に正答数との大きな関連が見られ、他にも学習習慣や規範意識、自尊感情、家庭でのコミュニケーションなどとの関連が見られる。 	認知能力
4	保護者に対する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する研究	国立大学法人お茶の水女子大学 (代表 浜野 隆)	平成 29 年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究文部科学省委託研究 (https://www.EXT.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/1406895.htm) 2018 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭の社会経済的背景 (SES) と学力調査の平均正答率においては、SES が高い児童生徒のほうが各教科の平均正答率が高い傾向にある。また、SES が低い層で、より各教科の平均正答率のばらつきが大きい。 ② SES と子供の非認知スキルの関連では、非認知スキルは子供の学力に緩やかな相関があり、中 3 よりも小 6 のほうが学力との相関がやや強い。一方、非認知スキルと SES の間にはあまり相関は見られなかった。こうしたことから、SES の高低に関わらず (SES が相対的に低い場合でも)、非認知スキルを高めることができれば、学力を一定程度押し上げる可能性がある。 ③ 保護者の適切な働きかけは、SES の高低に関わらず、子供の非認知スキルを高める傾向があり、小学生でより強い影響がある。 ④ SES が低いにも関わらず、高い学力水準に位置する子供は授業の復習を重視し一定の学習時間を確保しており、またその保護者も、より学力が低い児童生徒の親に比べて、規則的な生活習慣を整え、文字に親しむように促す姿勢、知的な好奇心を高めるような働きかけを行っており、行事や PTA 活動への参加など学校教育に親和的な姿勢が見られた。 	認知能力 非認知スキル

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
5	Extracurricular Activities and Adolescent Development (課外活動と青年期の発達)	Eccles JS. et.al.	Journal of Social Issues 59(4) 2003	<ul style="list-style-type: none"> z 米国国立小児保健発達研究所、メンタルヘルス研究所などが出資したミシガン大学の研究で、課外活動への関与と教育的アウトカムや危険な行動との関連の研究である。 z ほとんどの課外活動の参加者は、社会階級、性別、知的適性を制御した後でも、非参加者よりも優れたと教育的アウトカムを達成した。 z また、社会的コミュニティ活動及び宗教活動への参加により、飲酒と薬物使用の割合が低下することが予測された。一方、学校の運動部への参加は、より良い教育的アウトカムを予測する一方、飲酒率を高めることも明らかになった。これらの結果を説明する仲介メカニズムとして、アイデンティティ形成、ピアグループメンバーシップ（仲間意識）、および家族以外の成人との密接な関係による影響が挙げられている。 	認知能力
6	The Influence of Family-School Relations on Academic Success (学業達成における家庭・学校の影響)	Schmitt M, Kleine L.	Journal for Educational Research Online, 2 2010	<ul style="list-style-type: none"> z ソーシャルキャピタル（社会関係資本）が社会構造によってもたらされ、人的資本の蓄積などの特定の行動を促進するという定式化された仮定から、教育環境におけるアクター間の緊密な社会的関係は、子供の学業成績に独立した効果を発揮するはずであると考えられる。 z ドイツの教育システムにおいては4年生以降でさまざまなタイプの中等教育への早期選択が必要となることを考慮すると、この決定的な時点での社会的関係が重要になるだけでなく、この教育段階の移行に向けて社会的関係は時間とともに変化するものでもある。したがって、縦断的データ（BiKS-8-12の研究から）を使用し、この論文では、家族と学校の関係が学業達成に重要かどうかを調べるために、多項ロジスティック回帰を適用している。 z 教師やクラスメートとの良好な社会的関係を持つ子供、成績の良い友人を持つ子供、学校活動に従事する親を持つ子供は、高いパフォーマンスレベルに到達する可能性が大幅に高くなる。成長曲線モデルによる分析は、さらに、生徒と教師の相 	認知能力

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
				相互作用、生徒と生徒の相互作用の変化、および保護者の関与の変化が、学校での子供の成績向上に寄与することを示している。	
7	成功する子失敗する子 何が「その後の人生」を決めるのか	ポール・タフ	英治出版 2013年	<ul style="list-style-type: none"> z 児童の発達に関するこの数十年の一般通念である知能至上主義とは異なる教育手法として「気質」、つまり粘り強さ、自制心、物事をやり抜く力などを「非認知的スキル」とし、その特質を述べる。 z 自分をコントロールする活動に重要な働きをする脳の前頭前皮質が、貧困によるストレスを感じている子供においては阻害されていた。また、乳児期に泣いたとき親から適切な反応を得た子供は、1歳の時に泣いても無視された子供より自尊心が強く積極的であることが見られた。 z 神経科学、経済学、心理学等の研究をレビューし、最終的に、「やり抜く力」「自制心」「好奇心」「誠実さ」といった気質を育てる必要性があると判断している。 	非認知スキル
8	The Perry preschoolers at midlife: A Study in design-specific inference (ペリー就学前教育参加者の中年期 特殊デザイン下での推論に関する研究)	Heckman JJ, Karapakula G	National Bureau of Economic Research Working Paper 25888	<ul style="list-style-type: none"> z 1960年代の恵まれないアフリカ系アメリカ人の子供たちのための実験的な高品質の保育園プログラムである、ペリー就学前プロジェクトの参加者に対する、中年後期(55歳前後)のライフコースのアウトカム最初の分析を示す。 z ここでは、実験のデザイン、ランダム化プロトコルの妥協と調整、および初期ランダムアサインメントからの逸脱に関する知識の範囲について説明する。本研究では実験グループの重要な特徴を無視する標準的な推論方法と、本研究による新しい方法を比べて検証する。 z 広く使用されている手順は、処置効果について誤解を招く推論を生み出す。本研究の特殊デザインによる推論アプローチは、再ランダム化デザインを使用したものを含む、さまざまな妥協した社会的および経済的実験の分析に適用できる。 z 統計的テストの保守的な性質にもかかわらず、ペリー参加者の犯罪、雇用、健康、認知および非認知スキル、およびその他の結果に対する長期治療効果が見つかった。治療効果は特に男性に強い。子供の頃の家庭環境と親の愛着の改善は、プログラムの長期的な利益の重要な源であると思われる。 	非認知スキル

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
9	家庭、学校、地域社会における社会情動的スキルの育成 国際的エビデンスのまとめと日本の教育実践・研究に対する示唆	池迫浩子・宮本浩司	OECD ワーキングペーパー － 2015 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 忍耐力、社会性、自尊心といった社会情動的スキルは、個人が課題に対処し、もたらされる機会から恩恵を受けるのに役立つ。政策立案者、教員、保護者はこうしたスキルが育つための学習環境を改善することにより、スキルの発達を助けることができる。 ② 本ペーパーは、子供の社会情動的発達を促す可能性のある学習環境についてより深く理解することを目的に、日本のエビデンスを含む国際的なエビデンスを概観するもので、介入研究を含む成果を上げている学習プログラムの根底にある特徴を明らかにしている。 ③ エビデンスによると、子供の社会情動的スキルの促進において、家庭、学校、地域社会が果たす重要な役割があり、それらの学習環境の間で一貫性が確保される必要があることが示されている。 	非認知スキル
10	Does High Self-Esteem Cause Better Performance, Interpersonal Success, Happiness, or Healthier Lifestyles? (高い自尊心によってよりよいパフォーマンス、対人関係の成功、幸福、健康的なライフスタイルはもたらされるか)	Baumeister RF et al.	Psychological Science in the Public Interest, 4 2003	<ul style="list-style-type: none"> ① 自尊心と学業成績の相関関係は、高い自尊心が良好な成績につながることを示しておらず、部分的には学校の成績が良いことの結果として高い自尊心があるといえる。成人の仕事のパフォーマンスにおいては部分的に自尊心との関連が見られ、職業上の成功は自尊心を高める可能性がある。 ② データは、高い自尊心の恩恵は、自尊心を肯定する支持者が望んでいるよりもはるかに少なく、弱いことを示唆している。それでもいくつかの利点はあるが、自尊心を高めるために個人に投じられるコストを上回るほどではない。 ③ 自尊心は、その正しい「種類」とは何かが重要なのではなく、どのように使われるかが重要である。自尊心を高めることは、それだけでは若者が学校でより良い成績を上げたり、法律を順守したり、トラブルから逃れたり、仲間と仲良くなったりするわけではない。しかし、倫理的な行動と価値のある成果に対する報酬として、人々の自尊心を高めようとするのは適切である。 	非認知スキル
11	Personal Characteristics and Resilience to	Donnellan MB, Conger KJ,	Journal of Personality, 77	<ul style="list-style-type: none"> ① 本研究では、個人の性格とレジリエンスを、経済的困難およびその心理的および対人関係の結果に結び付ける理論モデルについて説明する。このモデルは、社会経済 	レジリエンス

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
	Economic Hardship and its consequences: Conceptual Issues and Empirical Illustrations (経済的困難に対する個人の性格とレジリエンス)	McAdams KK, Neppl TK.	2009	<p>的状況と個人および家族の発達との関係に関する社会的影響と社会的選択の観点を統合するものである。</p> <p>z さらに、この文脈における個人の性格の影響の調査に関連する方法論的および概念的な問題について説明する。</p> <p>z 最後に、米国中西部の家族のサンプルから収集された縦断的データを使用した分析から、このモデルが提示するいくつかの主要な予測を支持する根拠を示す。具体的には、思春期の学業成績、良心が強い傾向や思春期の神経症的傾向が低いことは、経済的プレッシャーの軽減、恋愛関係の満足度の向上、子育て行動の過酷さなど、成人後の肯定的アウトカムを予測した。</p>	
12	Do children benefit from universal early childhood education and care? : A meta-analysis of evidence from natural experiments (幼児教育やユニバーサルケアは子供に利益をもたらすかー自然実験研究からのエビデンスのメタ分析)	Van Huiten T, Plantenga J.	Economics of Education Review, 66 2018	<p>z この研究は、子供の発達と当人の晩年のアウトカムに対する普遍的な幼児教育やユニバーサルケア (ECEC) の影響を論じる。</p> <p>z 2005 年から 2017 年の間に行われた 30 の研究から 250 の推定値を使用してメタ分析を行い、普遍的な ECEC の取組の効果要因を特定するために、自然実験を活用した最近の研究からの発見を統合する。メタ回帰には、幼児期に測定された認知的 / 非認知的発達から成人期の教育的アウトカムおよび収入に至るまでの幅広い子供のアウトカムの推定値が含まれる。</p> <p>z 全体的に、普遍的な ECEC に関する証拠はまちまちだった。入園時の年齢は、影響を説明する主要な要因ではなく、より集中的な保育・幼児教育プログラムがより好ましい結果を生み出すことを示すエビデンスもあった。</p> <p>z プログラムの質は非常に重要で、質の高い保育・幼児教育は、常に良い結果を生み出していた。公的保育は、民間保育 (およびそれらの混合) よりも好ましい効果をもたらしていた。さらに、保育・幼児教育の利益は、より低い社会経済的家族の子供たちに集中して見られた。</p>	幼児教育

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
13	How does early childcare enrollment affect children, parents, and their interactions? (早期の保育参加は子供と親およびその相互関係にどのように影響するか)	Yamaguchi S, Asai Y, Kambayashi R.	Labour Economics, 55 2018	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本全国で、保育園入園の時期の違いにより子供のアウトカムにどのように影響するかを推定する。 ② その結果、保育は子供の言語発達を改善し、低学歴の母親を持つ子供の不注意、多動、攻撃性を減少させ、不利な状況の子供の行動を改善した。 ③ 基になるメカニズムに注目するために、親のアウトカムも検討した結果、同様に不利な状況の母親のストレスを軽減し、子育ての質を改善することが明らかになった。 ④ 推定によると、保育の利用は子育ての質と子供の主観的な幸福を改善し、低学歴の母親のストレスを軽減する。 ⑤ ただし、研究の限界として、育児から最も恩恵を受ける子供は保育に参加する可能性が低く、非効率的な配分になることも示されている。 	幼児教育
14	就学前教育・保育形態と学力・非認知能力 JCPS2010-2012 に基づく分析	赤林英夫・敷島千鶴・山下絢	JOINT RESEARCH CENTER FOR PANEL STUDIES DISCUSSION PAPER SERIES 2013 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 本研究では、JCPS(日本子供パネル調査)2010～2012 を用いて、幼稚園・保育所の利用やその期間が、子供のその後の学力や非認知能力に関連があるかどうか実証した。 ② 無作為抽出による全国規模の調査を用いて、就学前教育・保育形態と学力・非認知能力の関連を推計する研究し、分析の結果、(1)幼稚園・保育所の選択は子供の家庭背景と関係があること、(2)親の学歴や所得などの社会経済的地位を統制しても、保育所出身の子供よりも幼稚園出身の子供の方が学力スコアが高いこと、(3)非認知能力の中では、保育所出身の子供よりも幼稚園出身の子供の方が QOL 総合スコアは高い傾向にあるが、問題行動スコアではほとんど差はなく、前者の差も年齢と共にほぼなくなること、(4)在園年数は QOL 総合スコアと正の相関があること、などが明らかになった。 	幼児教育
15	子供の社会性・適応感と家庭背景 慶應子供パネル調査 2011 から	敷島千鶴・山下絢・赤林英夫	JOINT RESEARCH CENTER FOR PANEL STUDIES	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本の子供の社会性の発達と適応感 (QOL) の程度を、子供の家庭背景であるきょうだい構成や親の年齢、親のメンタルヘルス、ならびに社会経済的地位を構成する親の学歴、就業、収入の各変数が、どの程度説明するかについて検討を行った。 	親のメンタルヘルス

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
			DISCUSSION PAPER SERIES. 2012年	<ul style="list-style-type: none"> z 対象は全国より無作為抽出された世帯の小中学生の子供 660 名で、慶應子供パネル調査 2011 の一環として、親と子供の両方から質問紙による回答を得た。 z 重回帰分析の結果、子供の問題行動と最も強い関連を示す家庭背景は母親のメンタルヘルスであることが明らかになった。母親のメンタルヘルスは、子供の情緒不安定、問題行為、多動・不注意、仲間関係の形成困難の全ての問題行動次元と有意な負の相関関係にあった。 z 一方、子供自身が感じる適応感と最も強い関連を示す家庭背景は、世帯年収ときょうだい数であった。世帯年収は、QOL の下位次元である身体的健康感、情動的ウェルビーイング、自尊感情、友だちへの適応感、学校への適応感とは正の相関関係に、家族への適応感とは負の相関関係にあった。きょうだい数は、身体的健康感を除く全ての QOL 次元と負の相関関係にあった。子供の行動と感情の形成では、異なる家庭背景の側面が寄与することが示唆された。 	
16	The Importance of family income in the formation and evolution of non-cognitive skills in childhood (幼少期の非認知スキルの形成及び発達における家庭収入の重要性)	Fletcher, J. et al.	Centre for Economic Policy Discussion Paper Series, 665 2012	<ul style="list-style-type: none"> z 仮定の収入と子供の非認知的 (または社会的感情的) スキル形成との関係についてはほとんど知られていない。これらのスキルは、幼少期のアウトカムと成人後の社会経済的地位の間の重要なリンクであると仮定されているため、これは重要なギャップである。 z 本研究では、5年生の子供を追跡する最近の米国のパネルデータセットを使用して、子供の非認知スキルの形成と進化における家族収入の重要性の新しい証拠を提示する。 z 調査結果では、子供の健康状態の違いによって説明されないと考えられる家庭の収入に基づく非認知スキルの重要なギャップとその時間の経過による蓄積を示唆している。 	非認知スキル
17	Socioeconomic disparities in psychological distress in a nationally representative	Kachi Y. et al.	Australian & New Zealand Journal of Psychiatry	<ul style="list-style-type: none"> z 長い間平等主義社会と見なされてきた日本では、社会経済的地位はメンタルヘルス問題の決定的要因としてほとんど注目されなかった。この研究は、社会経済的地位と心理的苦痛との関連、および日本の青年における傾向を調べた。 	子供のメンタルヘルス

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
	sample of Japanese adolescents: A time trend study (日本の若者の全国代表サンプルにおける心理的苦痛の社会経済的格差 時間傾向研究)		2016	<ul style="list-style-type: none"> ① 2007年から2013年の間に3回繰り返し横断調査に参加した12～18歳の9,491人の全国代表サンプルのデータから、K6尺度を使用して心理的苦痛を評価した。社会経済状態の指標には、家計収入、親の教育、親の労働状態、家計構造が含まれる。 ② 心理的苦痛の有病率は2007年(10.7%)から2013年(7.6%)に大幅に減少した。ただし、心理的苦痛の社会経済的地位パターンは、対象期間を通じて一貫していた。低所得および高所得世帯に住んでいる青年は、心理的苦痛を報告する可能性が高かった。中所得者と比較した場合、世帯収入が低い青少年は対人関係からストレスを感じる傾向があり、助けを求める行動が少ない傾向があり、世帯収入が高い青少年は学校の成績についてストレスを感じる傾向がある。心理的苦痛は、親の貧しい教育とひとり親であることとも関連していた。 ③ 青年期の心理的苦痛における社会経済的地位の格差は、6年の期間中に明白で一貫していた。日本では、他の国とは異なり、家計収入と心理的苦痛との間に独特のU字型の関係がある。ただし、基礎となるメカニズムは所得状況によって異なる場合がある。 	
18	小児期逆境体験とこころの発達 —発達精神病理学の近年の研究動向から	菅原ますみ	精神医学 61(10) 2019年	<ul style="list-style-type: none"> ① 小児期の逆境要因について、発達精神病理学の研究動向を紹介する。 ② 医学領域では虐待的養育と家庭の機能不全に関する家庭内要因(intra-familial factors)に注目し、それらの体験をより多く経験すると(加算的体験)、成人期以降の広範囲な心身の健康リスクとなることを明らかにしてきた。一方、発達精神病理学の領域では、家庭外の要因(extra-familial factors)を加えて子供が体験する逆境の総体を累積リスク(どれを重複して経験したか)として概念化し、認知・社会性・情緒発達への影響性を検討してきている。代表性の高いコホートデータを対象とした潜在クラス分析(latent class analysis)を用いた逆境体験の重複パターン抽出の試みや、逆境要因間の時系列的な関連性を問う経路研究が進展しつつあり、今後、いつ・どのような逆境体験がどのような因果メカ 	逆境体験

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
				ニズムで子供のこころの発達に影響するのかを探索する実証研究がさらに活性化することが期待される。	
19	Relationship of Childhood Abuse and Household Dysfunction to Many of the Leading Causes of Death in Adults : The Adverse Childhood Experiences (ACE) Study (小児虐待および家庭の機能障害と成人の主要な死因の多くとの関係 有害な小児期経験の研究)	Felitti, VJ. et.al.	American Journal of Preventive Medicine, 14(4) 1998	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 9,508 人の成人を母集団とするアンケートを実施し、小児期の有害な経験 (ACE) の 7 つのカテゴリ (身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、家族のアルコール/薬物中毒、家族の精神病、家族の母親への暴力、家族の投獄経験) を調査したものの。 ㊦ 小児期に経験した ACE カテゴリ数と、研究対象の成人の健康リスク行動および疾患のそれぞれとの間に段階的な関係があることが判明。4 つ以上の ACE カテゴリを経験した人は、経験していない人と比較して、以下の通り健康リスクの増大が見られた。 <ul style="list-style-type: none"> ○アルコール依存症、薬物乱用、うつ病、自殺未遂：4～12 倍 ○喫煙、自己評価の低い健康状態、50 人以上の性交パートナー、性感染症：2～4 倍 ○運動不足および重度の肥満：1.4～1.6 倍 ㊦ ACE のカテゴリ数は、虚血性心疾患、癌、慢性肺疾患、骨格骨折、肝疾患などの成人病の存在と段階的な関係を示した。ACE の 7 つのカテゴリは強く相互に関連しており、ACE を複数経験した人は、人生の後半で複数の健康上の危険因子を持つ可能性がある。 	逆境体験
20	The enduring effects of abuse and related adverse experiences in childhood (小児期における虐待および関連する不利な経験の永続的な効果)	Anda RF. et al.	European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience, 256(3) 2006	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 同じサンプルにおける ACE 研究のアンケートに対する回答と医学的所見・身体検査結果を組み合わせ、ロジスティック回帰分析を行ったもの。 ㊦ ACE カテゴリの経験スコア全てについて、スコアが増加するにつれて有病率・相対リスクが段階的に増加した。ACE スコアがゼロの対象者と最大値の対象者の間では、複数の疾患を持っているという有病率で 3 倍の違いがみられた。 ㊦ これは理論的には、発達中の脳がストレス応答に累積的にさらされ、結果として複数の脳の構造と機能が損なわれることと並行して見られる。 	逆境体験

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
21	Adverse childhood experiences and life opportunities: shifting the narrative (幼少期の逆境体験と生涯機会)	Metzler, M., et al.	Children and Youth Services Review, 72 2017	<ul style="list-style-type: none"> z 実証的研究では、児童虐待やネグレクトを含む幼少期の逆境体験（ACE）は、ライフコース全体および世代を超えた健康の低下との関連を示している。一方 ACE と教育・雇用・収入などの成人後の社会経済的地位との関係は、まだ未解明の部分が多い。 z 2010 年の行動リスク要因監視システムの ACE モジュールを使用して、ACE と成人の教育、雇用、収入との関連性を調査した 10 州とワシントン DC のデータを分析した。ACE のない参加者と比較して、ACE スコアが高い参加者は、高校の中退、失業、および連邦貧困レベル以下の世帯での生活を報告する可能性が高かった。この証拠は、ACE を防ぐことは、世代を超えて影響する健康と障害にわたる機会に影響を与える可能性があることを示している。 z ACE を防ぐための改善点として、ACE と貧困の間の関連に関する理解の拡大が挙げられる。 	逆境体験
22	小児期逆境体験の影響に関する疫学研究	伊角彩・土井理美・藤原武男	精神医学 61(10) 2019 年	<ul style="list-style-type: none"> z 小児期の逆境体験（ACE）が成人期に与える影響および世代間を超えて与える影響とそれらのメカニズムについての国内外の疫学研究を紹介する。 z ACE は生物学的経路としては生理的なストレス反応が神経系、神経内分泌系、免疫系のシステムに悪影響を及ぼし、それが身体的・精神的疾患につながる事が考えられる。また、心理社会的経路としては、コーピング方略や自己制御が媒介要因となり、ACE から生じるストレスに対処するために、不健康な生活習慣やリスクが高い行動をとってしまい、それが長期的に健康を損なうという可能性がある。 z また、母親の ACE は子宮内環境を悪化させ、胎盤を通して子供の自律神経系に影響を及ぼすことも示唆されており、世代間での連鎖も予想される。 	逆境体験
23	Children's age at parental divorce and depression in early and mid-adulthood (両親の離婚時の子供の年齢	Kravdal Ø, Grundy E.	Population Studies A Journal of Demography, 73 2019	<ul style="list-style-type: none"> z この研究の目的は、両親の離婚時の子供の年齢が、成人初期および中年期のうつ病に関連するかどうかを、薬物の購入記録を指標として評価することである。 	逆境体験

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
	と、成人初期及び中期におけるうつ病)			<ul style="list-style-type: none"> い ノルウェーの人口行政登録データと処方データベースから、親の離婚を経験した 20～44 歳の約 181,000 人と経験していない 636,000 人のデータを抽出し、兄弟を比較した。 い 2004 年の年齢、性別、出生順を制御すると、0～4 歳の時に親の離婚を経験した子供が 2004～08 年に抗うつ薬を購入する可能性は、15～19 歳の時に両親が離婚した子供よりも 12%、20 歳以上の時に親が離婚した子供よりも 19% 高かった。ただし、親の離婚年齢と抗うつ薬の購入との関係は、女性と母親の教育水準が低い女性の間でのみ明らかだった。 	
24	Association of childhood adversities with the first onset of mental disorders in Japan: results from the World Mental Health Japan, 2002-2004 (日本における小児期の逆境と精神障害の最初の発病の関連)	Fujiwara T, Kawakami N, World Mental Health Japan Survey Group	Journal of Psychiatric Research, 45(4) 2011	<ul style="list-style-type: none"> い 小児期の逆境体験 (ACE) が後年の精神障害の重大な危険因子であることはよく知られており、この研究では、ACE と日本の精神障害の発症との関連を明らかにする。 い 2002 年から 2004 年の世界精神保健調査日本調査 (n=1,722) のデータを使用し、回答者は診断面接 (世界保健機関総合国際診断面接) を完了し、15 の精神障害の診断および統計マニュアル-第 4 版 (DSM-IV) 障害の生涯有病率を評価した。 い 過去に遡って報告された 12 の ACE と精神障害の生涯有病率との関連について、離散時間生存分析を使用して推定した結果、対象者の 32% が小児期に少なくとも 1 つの ACE を経験したと報告した。ACE は高頻度で複数あり、親の精神疾患は、重要な準加法効果を示した。ACE が 3 つある場合、精神障害に重要な相互作用を示しており、ACE の数は、不安障害の発症に強い相互作用を及ぼしていた。 い ACE の予測効果に関しては日本では、特に小児期に DSM-IV 精神障害の発症の予測因子の 1 つであることが確認された。 	逆境体験

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
25	Socioeconomic position in childhood and cognitive aging in Europe (ヨーロッパにおける小児期の社会経済的地位と認知的老化)	Cermakova P, et al.	Neurology, 91(17) 2018	<p>① 本研究は小児期の社会経済的地位 (SEP) が認知能力のレベルと高齢者の認知機能低下率に影響を及ぼすかどうかを調査することを目的とした。</p> <p>② 多施設集団の研究である SHARE (ヨーロッパの健康、加齢および退職の調査) に登録された個人の前向きコホート研究を実施した。インタビューは認知能力の検査 (記憶、言語流性、遅延想起) および小児期の SEP (参加者の 10 歳時の世帯特性) について、約 2 年間隔で 6 波で行われ、線形回帰と混合効果モデルによる認知機能低下率との関係を使用して、SEP と認知パフォーマンスのレベルとの関連を推定した。</p> <p>③ 参加者はヨーロッパ 16 か国 20,244 人 (ベースライン時の年齢の中央値 71 歳、女性 54%)。小児期の逆境体験と SEP は、ベースラインの認知能力の低レベルと関連していた。この関連性は、臨床的および社会的危険因子の調整後に減衰したが、統計的に有意なままであった。小児期の SEP は認知機能低下の割合とは関連しなかった。</p>	逆境体験
26	Preventing Adverse Childhood Experiences (ACEs): Leveraging the Best Available Evidence (小児期の逆境体験を防ぐために一手に入る最高のエビデンスを活用する)	National Center for Injury Prevention and Control, Division of Violence Prevention	Centers for Disease Control and Prevention 2019	<p>① 本レポートでは、子供の頃の逆境経験 (ACE) の影響を受けているアメリカ人の数と、これらの種類のトラウマを防ぐことの潜在的な利点についての最初の推定を示している。</p> <p>② 25 州の 144,000 人を超える成人を対象とした調査のデータから、アメリカ人の約 60% が小児期に少なくとも 1 つの ACE をしており、4 つ以上の異なる ACE を体験した人は 15.6% に及ぶことがわかった。特に女性、ネイティブ・アメリカンおよびアラスカ先住民、およびアフリカ系アメリカ人は、4 種類以上の小児期のトラウマを経験するリスクが高かった。</p> <p>③ そのうえで、ACE を予防することで、米国の主要な死因について、冠状動脈性心臓病 190 万件、肥満または過体重 250 万件、うつ病 2100 万件を予防できるとしているほか、最大 150 万人の学校中退を予防できるとしている。</p>	逆境体験

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
				<ul style="list-style-type: none"> z これらの予防アプローチとして、家庭への経済的サポートの強化、暴力や逆境を防ぐための社会的規範の促進、幼少期のケアの強化、スキルの教育、青少年を大人やケアプログラムにつなぐこと、即自的あるいは長期的被害への介入、をあげている。 	
27	児童虐待の被害を測定する国際的調査票の日本語版の作成	坪井聡	科学研究費助成事業 研究成果報告書 2014年	<ul style="list-style-type: none"> z 本研究では、小児期の逆境体験（ACE）を測定するための子供用の調査票の日本語版を作成し、その信頼性と妥当性を検討することを目的とする。 z 日本語版調査票は、一次翻訳、逆翻訳、逆翻訳をもとにした ACE 研究担当者との協議、という過程を経て作成されている。 z 精神的な健康の総合指標として一般健康調査票を用い、スコアが3点以上の者を精神的な不調がある者と定義し、4か月後に再テストを実施した。ACE スコアによる精神的な不調を持つ者の割合の変化を観察し、本調査票の妥当性を検討した結果、その信頼性と妥当性が示された。 	逆境体験
28	The global economic crisis, household income and pre-adolescent overweight and underweight: a nationwide birth cohort study in Japan (世界経済危機、家庭収入と青少年期の過体重および肥満 日本における全国出生時コホート調査から)	Ueda P, et al.	International Journal of Obesity, 39 2015	<ul style="list-style-type: none"> z 本研究では、低所得世帯の子供や、2008年の世界経済危機に関連してマイナスの所得変動を経験した子供は、その後の景気低迷期に体重が悪化するリスクが高くなるという仮説のもと、2001年の特定の2週間以内に生まれた全ての子供を含む全国縦断調査から、16,403人の男児と15,206人の女児について、2001年から2011年まで複数の機会に人体測定値と世帯特性に関する情報を収集し分析した。 z 危機の始まり（2008年9月）と家計所得グループの相互作用、危機の始まりと危機に関連した30%を超えるマイナスの収入変化は、小児期の過体重と過体重のリスクに関連するとして評価された。 z 結果、世帯および親の特性に合わせて調整された、低所得世帯の四分位の男児と女児は、最高所得グループと比較して、危機発生後の過体重のリスクが大きく増加した。女児の間では、危機の発生と過体重のリスクに関して、家計収入に30%を超えるマイナスの変化が見られた。最高所得グループの女児は、最低所得グループの女児と比較して、危機発生後の低体重のリスクが増加した。 	肥満

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
				<ul style="list-style-type: none"> z 2008年の世界的な経済危機に関連して、低所得世帯の男児と女児、およびマイナスの所得変化を経験した世帯の女児は、過体重のリスクが高くなる可能性がある。経済の不確実性に対する脆弱性は、思春期前の過体重のリスクを高める可能性がある。 	
29	<p>Socioeconomic Status and Overweight: A Population-Based Cross-Sectional Study of Japanese Children and Adolescents (社会経済的地位と過体重 日本の子供と青少年の人口に基づくクロスセクショナル調査から)</p>	Kachi Y. et al.	Journal of Epidemiology, 25(7) 2015	<ul style="list-style-type: none"> z 肥満の決定要因としての社会経済的地位 (SES) について、日本の子供と青少年の過体重との関連を調べた。 z 2010年の国民健康・栄養調査から身長と体重を測定し、日本人の子供(6~11歳: n=397)と青少年(12~18歳: n=397)の代表的なサンプルの断面分析を実施した。SES指標には、家計収入、等価可処分所得、親の学歴、および親の職業階級が含まれる。 z 過体重の有病率は、子供で12.3%、青少年で9.1%であった。中所得世帯の青少年は、年齢、性別、および親の体重の状態を調整した後、高所得世帯グループよりも過体重であった。同様に、低所得世帯の青少年は、高所得世帯よりも太りやすい傾向があった。対照的に、子供の間で有意な関連は観察されなかった。これらから、日本の青少年の間では、低いSESは、親の体重の状態とは無関係に、過体重に関連していることを示した。 	肥満
30	<p>Trajectory of social inequalities in the treatment of dental caries among preschool children in Japan (日本の就学前児童の虫歯治療における社会的不平等の軌跡)</p>	Aida J, et al.	Community Dentistry and Oral Epidemiology, 45 2017	<ul style="list-style-type: none"> z 本研究では、日本の就学前児童の虫歯治療における相対的および絶対的な不平等の軌跡を測定することを目的とした。 z 21世紀出生児縦断調査 (LSB21) のデータから、日本に居住し、2001年1月10日から1月17日または7月10日から7月17日の間に生まれた新生児を持つ家族を対象とし、虫歯治療歴と社会経済的地位 (SES) に関する自己申告アンケートを用いた。合計で、年次調査を通じて2歳半~5歳半の35,260人の子供を追跡し、絶対不平等と相対不平等を評価した。 z 2歳半での虫歯治療率は、全てのSESグループで10%未満だったが、5歳半で30%以上に増加した。SESの低い子供はより頻繁に虫歯治療を受け、絶対的お 	虫歯

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
				<p>よび相対的な社会的不平等は統計的に有意だった。不平等後輩指数 SII は期間を通じて有意な増加を示し、2 歳半で 4.13%、および 5 歳半 15.50% の値を示した。対照的に、相対的不平等指数 RII は全てのグループの治療率の増加とともに減少した（2 歳半：1.83、歳半 1.53）。</p> <p>い 以上の結果から、日本において SES の低い就学前児童ほど虫歯治療率が高く、子供の成長とともに絶対的不平等が広がっていることが示唆された。</p>	
31	<p>‘Only Fathers Smoking’ Contributes the Most to Socioeconomic Inequalities: Changes In Socioeconomic Inequalities in Infants’ Exposure to Second Hand Smoke over Time in Japan (「父親だけが喫煙する」と社会 経済的不平等に最も影響す る)</p>	<p>Saito J, Tabuchi T, Shibanuma A, Yasuoka J, Nakamura M, et al.</p>	<p>PLOS ONE, 10(10) 2015</p>	<p>い この研究では、日本の乳児の受動喫煙曝露における社会経済的不平等の経時 的变化を調査した。</p> <p>い 2001 年に生まれの 41,833 人と 2010 年生まれの 32,120 人の乳児を対象と した全国的なアンケート調査による横断調査から、幼児の受動喫煙暴露率を分析 し、世帯収入と親の教育レベルが関連していることを明らかにした。</p> <p>い 乳児における受動喫煙暴露率は 2001 年から 2010 年に低下した。不平等の 相対指数は、収入と所得に基づいて 0.85 から 1.47 に増加し、教育に基づいて 1.22 から 2.09 に増加した。不平等の勾配指数は、所得では 30.9 から 20.1 に減少し、教育では 44.6 から 28.7 に減少した。父親のみが屋内で喫煙する場 合、2010 年の乳児の受動喫煙における絶対所得の不平等の主要な要因であ り、2001 年の 45.1% から 2010 年の 67.0% に重要性が増した。</p>	<p>親の喫煙</p>
32	<p>「日本語指導が必要な児童生 徒の受入状況等に関する調査 (平成 30 年度)」の結果に ついて</p>	<p>文部科学省総合 教育政策局 男 女共同参画共生 社会学習・安全 課</p>	<p>文部科学省 HP (https://www.m ext.go.jp/b_menu /houdou/31/09/1 421569.htm) 2018 年</p>	<p>い 全国の公立小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校及び 特別支援学校に対し、(1)日本語指導が必要な児童生徒の状況(学校種別 在籍状況、母語別(外国籍の児童生徒)・言語別(日本国籍の児童生 徒)在籍状況、在籍人数別状況)、(2)日本語指導が必要な児童生徒に 対する施策の実施状況、(3)日本語指導が必要な高校生等の中退・進路状況 を調査した。</p>	<p>日本語指導が 必要な児童生 徒</p>

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
				<ul style="list-style-type: none"> z 日本語指導が必要な児童生徒数は平成 26 年頃から急増しており、現在は総数で外国籍児童生徒 4 万人、日本国籍児童生徒 1 万人を超える。同様に、これらの日本語指導が必要な児童生徒がいる学校、市町村数も増加の一途である。 z 日本語指導が必要な高校生等は、全高校生等と比較して、中退率（日本語指導が必要な高校生等 9.6% / 全高校生等 1.3%）、進学率（同 42.2% / 同 71.1%）、非正規就職率（同 40.4% / 同 4.3%）、進学も就職もしていない者の率（同 18.2% / 同 6.7%）に悪影響が見られ、進学や就職に困難を抱えている状況が明らかになっている。 	
33	Low-Income and Poverty Dynamics: Implications for Child Outcomes (低所得と貧困のダイナミクス—子供のアウトカムへの示唆)	Warren D.	Australian Institute of Family Studies , Social Policy Research Paper, 47 2017	<ul style="list-style-type: none"> z このレポートでは、オーストラリアの子供の縦断的研究（LSAC）の最初の 5 回のデータを使用して、子供の貧困とさまざまな子供の発達に関するアウトカムとの関連性を調査した。 z 貧困率および経済的不利益率（それぞれ親の収入が中央値の 50% 未満と 70% 未満とする）から、相対的な収入の貧困と経済的不利益を経験した子供について、構造方程式モデリングを使用し、親の投資や子育てスタイルの違いから間接的にどの程度、認知的・社会的・および健康的アウトカムに影響を与えているかを明らかにする。 	非認知スキル
34	生活保護世帯の保護者・子供の生活状況等の実態や支援のあり方等に関する調査研究事業報告書	株式会社浜銀総合研究所	平成 30 年度 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業 2018 年	<ul style="list-style-type: none"> z 生活保護世帯の保護者・子供の生活状況等について調査した。 z 生活保護世帯は例えば必要な食糧が買えなかった経験がある割合が高いなど、生活はより不安定であることがうかがえ、ひとり親世帯（母子世帯）であることや精神疾患等による困難など、保護者は複合的な課題を抱えている。 z 子供自身も日常的な生活や進学において経済的な課題を意識しており、子供の学習状況や不登校を経験する割合などからも、高校に進学し、その後の進学や就職を経て自立に向かっていく過程における課題が多いことがうかがわれる。 z 他方、生活保護世帯であっても、保護者の生活状況が比較的安定していれば子供に見られる課題も少なくなることがみられる。例えば、保護者の心の状態も含む 	貧困世帯の実態調査

No.	研究論文名	著者等	掲載誌、出版年	研究概要	テーマ
				<p>健康状態が比較的良ければ、子供の生活習慣等に課題がみられる割合は低くなっている。</p> <p>また、今回の調査により、生活保護世帯の保護者に近年の制度変更に関する情報が十分に届いていないという実態も明らかになった。</p>	